

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

【お客さま本位の業務運営】

山口フィナンシャルグループにおける取組状況 -2025年度-

2026.07.10

株式会社山口フィナンシャルグループ
株式会社山口銀行
株式会社もみじ銀行
株式会社北九州銀行
ワイエム証券株式会社
株式会社YMFGグロースパートナーズ
ワイエムアセットマネジメント株式会社

共通KPI

- 山口フィナンシャルグループは、金融庁が2017年3月に公表しました「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択し、グループ共通の指針となる「YMFGお客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）に関する取組方針」を定めています。
- グループ各社では、YMFGの「パーパス」、「ビジョン」の実現に向け、取組方針に基づく具体的なアクションプランと取組状況を年度ごとに策定・公表しています。
- また、フィデューシャリー・デューティーに関する各種定量指標（KPI）を定期的に検証してまいります。

パーパス

「地域の豊かな未来を共創する」

ビジョン

「地域に選ばれ、地域の信頼に応える、地域価値向上企業グループ」

取組方針（共通）

- 1. お客さま本位の徹底
- 2. お客さま本位の情報提供
- 3. お客さま本位のラインアップ
- 4. お客さま本位の管理態勢
- 5. 企業文化の定着

アクションプラン（事業体別）

銀行	① 適切なサービスの提供 ② ポートフォリオ提案の浸透 ③ 商品ラインアップの整備 ④ アフターフォロー体制および管理態勢の整備 ⑤ 人財育成・評価体系の整備	YMFG グロース パートナーズ	① 助言サービスの提供 ② サービスラインアップの整備 ③ お客さまの資産メンテナンスの実施 ④ 管理態勢の整備 ⑤ 社員教育の徹底
ワイエム証券	① 質の高いコンサルティングの実践 ② アフターフォロー体制の構築 ③ 良質な商品・サービスの拡充 ④ 適切な販売体制の整備 ⑤ 人財育成・評価体系の整備	ワイエム アセット マネジメント	① お客さまの最善の利益の追求 ② お客さま本位の情報提供 ③ お客さま本位のラインアップ ④ お客さま本位の管理態勢 ⑤ お客さま本位の徹底・企業文化の定着

成果（共通KPI ※1）

- ① 投資信託およびファンドラップの運用損益別顧客比率
- ② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン
- ③ 外貨建保険の運用評価別顧客比率
- ④ 外貨建保険残高上位20商品のコスト・リターン

成果（独自KPI）

- ① 投資信託・積立投信の契約者数
- ② 投資信託残高
- ③ NISA口座開設数
- ④ ワイエムアセットマネジメント運用資産残高推移
- ⑤ グループ会社の投資信託の販売比率
- ⑥ 毎月分配型投資信託の販売比率
- ⑦ FP資格保有率

※共通KPIは、金融庁から公表された「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPIについて」および「外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPIについて」に基づく指標

お客さまの運用成果に関する共通KPIの内容

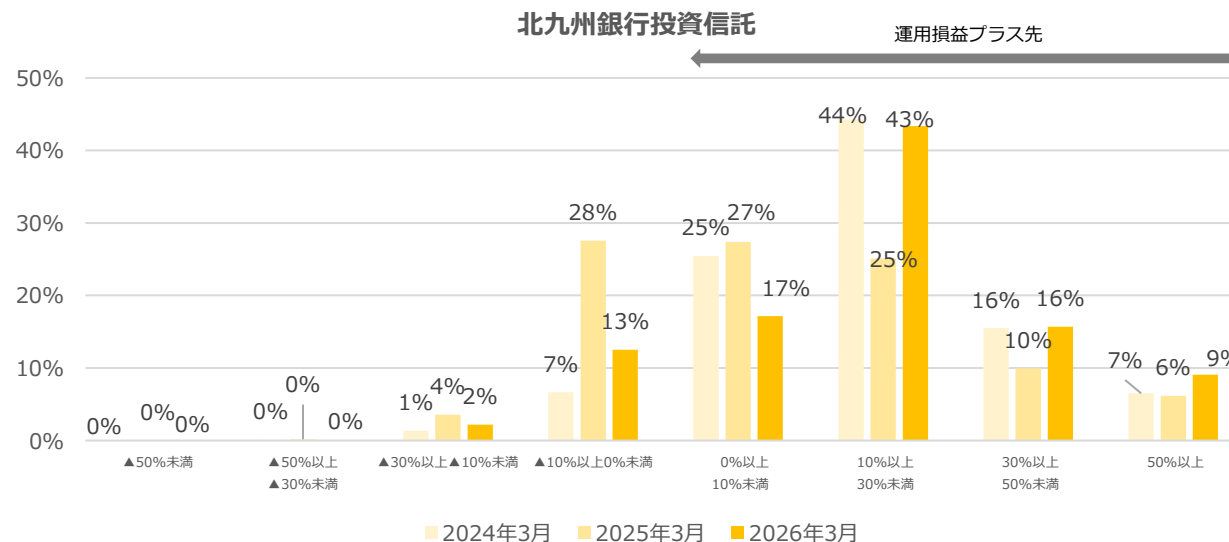
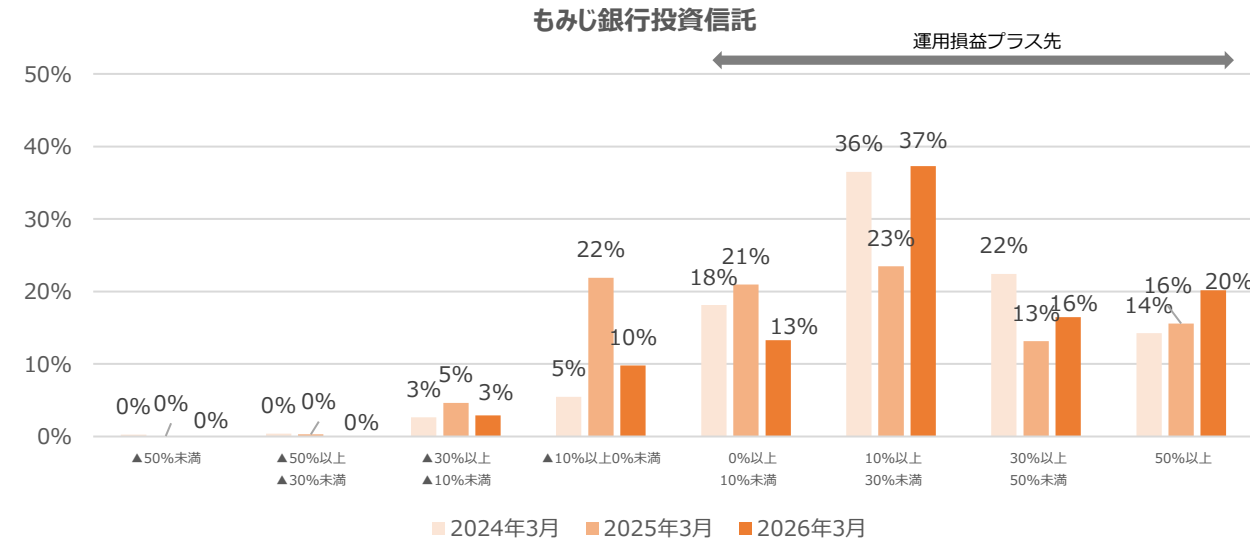
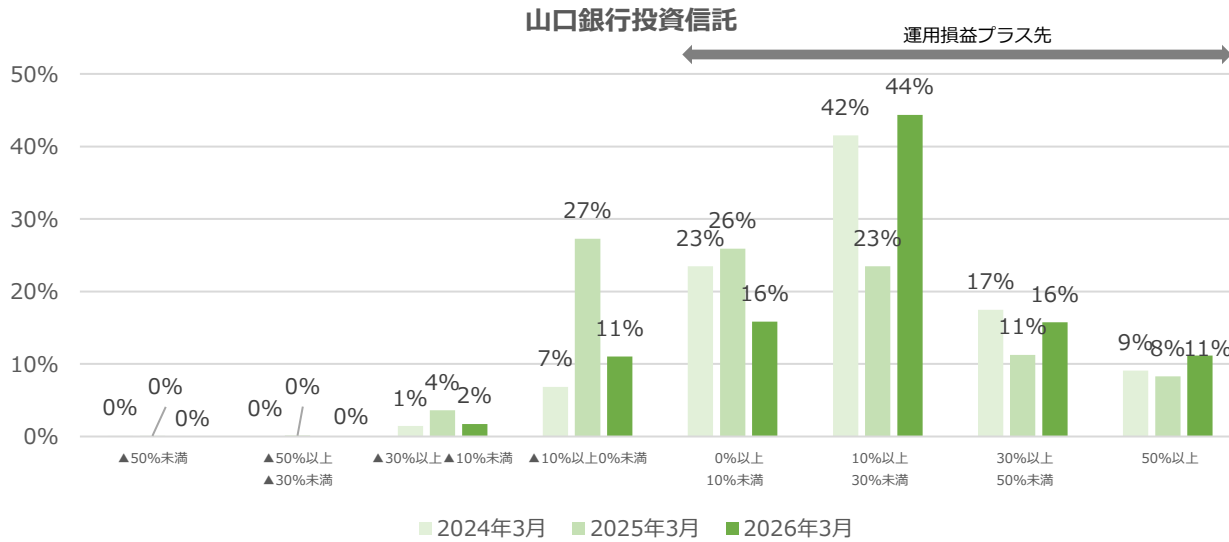
投資信託・外貨建保険の運用成果の状況として、以下4点の指標を掲載します。

- ① 投資信託およびファンドラップの運用損益別顧客比率
- 基準日時点の保有投資信託およびファンドラップにかかる購入時以降の累積の運用損益（手数料控除後）を算出し、運用損益別にお客さまの比率を示した指標でお客さまの運用損益がどの様に分布しているかを確認することができます。
- ② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン
- 設定後5年以上の銘柄について、加重平均のコストとリターンおよびリスクとリターンの関係を示した指標で、中長期的にどのようなコスト・リスク／リターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを確認することができます。
- ③ 外貨建保険の運用評価別顧客比率
- 基準日時点の外貨建保険にかかる購入時以降のリターンを算出し、運用損益別にお客さまの比率を示した指標で、お客さまの運用評価がどの様に分布しているかを確認することができます。
- ④ 外貨建保険残高上位20商品のコスト・リターン
- 契約後5年以上保有している契約について、加重平均のコストとリターンの関係を示した指標で、中長期的にどのようなコスト・リターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを確認することができます。

投資信託 関連指標	定義・算出方法	外貨建保険 関連指標	定義・算出方法
運用損益	基準日時点の評価金額＋税引後累計受取分配金額＋累計売付金額－累計買付金額（含む消費税込の販売手数料）÷基準日時点の評価金額	運用評価	（基準日の解約返戻金額＋基準日の既支払金額－契約時点の一時払保険料（いずれも円換算））÷契約時点の一時払保険料（円換算）
コスト	当該販売手数料上限の1/5と信託報酬率の合計値	コスト	基準日時点で5年以上保有している契約について、各契約の新契約手数料率と継続手数料率（累計支払）の合計値を契約期間（経過月数）で年率換算したものを、各契約の一時払保険料で加重平均した指標
リスク	過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）	リターン	基準日時点で5年以上保有している契約について、各契約の契約時点の一時払保険料に対する、基準日時点の解約返戻金額＋基準日までの既支払金額の増加率を年率換算したものを、各契約の一時払保険料で加重平均した指標
リターン	過去5年間のトータルリターン（年率換算）		

① 投資信託における運用損益別顧客比率_3 銀行

- 山口銀行、もみじ銀行、北九州銀行にてお客さまにご購入いただいた投資信託の運用損益状況について、損益区分ごとのお客さま割合をお示ししています。
- 運用損益がプラスのお客さまは、山口銀行が87.1%（2025年3月末比+18.2ポイント）、もみじ銀行が87.2%（同比+14.1ポイント）、北九州銀行が85.2%（同比+16.6ポイント）となっています。



【運用損益プラスのお客さま比率】（2024年3月末～2026年3月末）

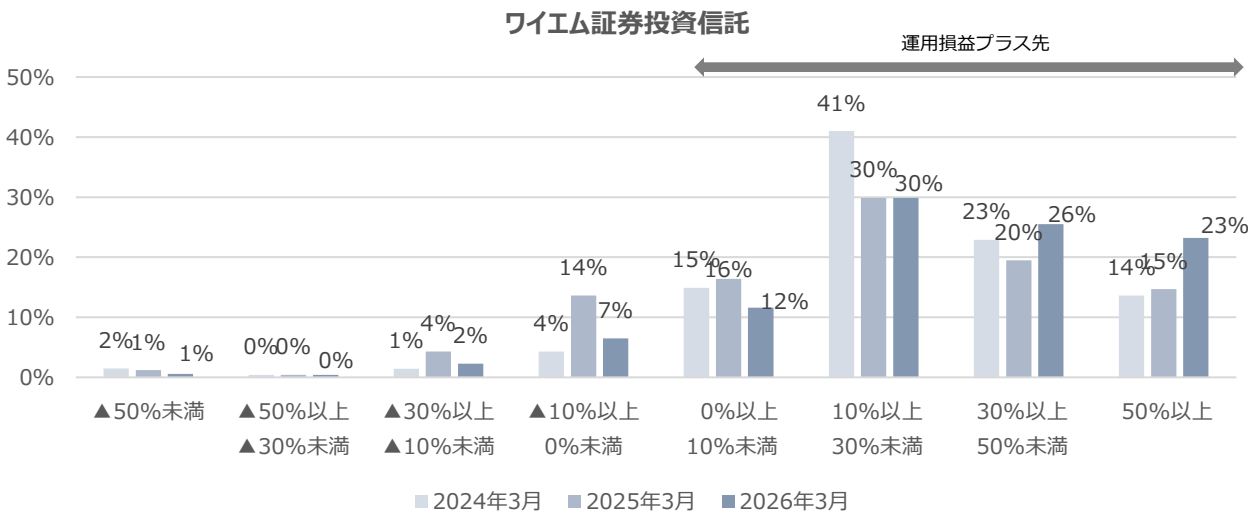
	2024年3月	2025年3月	2026年3月	2025年3月比
山口銀行	91.5%	68.9%	87.1%	+18.2ポイント
もみじ銀行	91.3%	73.1%	87.2%	+14.1ポイント
北九州銀行	91.8%	68.6%	85.2%	+16.6ポイント

（参考）市場動向の推移（2024年3月末～2026年3月末）※終値

日経平均株価	40,369.44	35,617.56	51,063.72	+43.3%
NYダウ	39,807.37	42,001.76	46,341.51	+10.3%

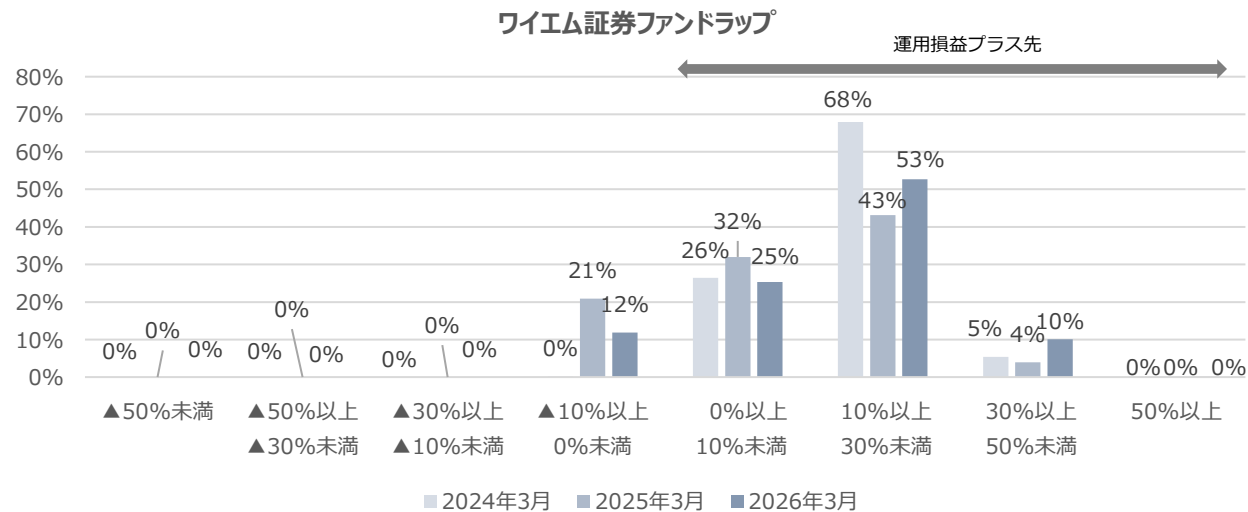
① 投資信託およびファンドラップの運用損益別顧客比率_ワイエム証券

- ワイエム証券にてお客さまにご購入いただいた投資信託およびファンドラップサービスの運用損益状況について、損益区分ごとのお客さま割合をお示しています。
- 運用損益がプラスのお客さまは、投資信託が90.2%（2025年3月末比+9.7ポイント）、ファンドラップが88.1%（同比+9.0ポイント）となっています。



【運用損益プラスのお客さま比率】（2024年3月末～2026年3月末）

	2024年3月	2025年3月	2026年3月	2025年3月比
ワイエム証券（投資信託）	92.4%	80.5 %	90.2 %	+9.7ポイント



【運用損益プラスのお客さま比率】（2024年3月末～2026年3月末）

	2024年3月	2025年3月	2026年3月	2025年3月比
ワイエム証券（ファンドラップ）	99.8%	79.1%	88.1%	+9.0ポイント

（参考）市場動向の推移（2024年3月末～2026年3月末） ※終値

日経平均株価	40,369.44	35,617.56	51,063.72	+43.3%
NYダウ	39,807.37	42,001.76	46,341.51	+10.3%

② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよび リスク・リターン山口銀行

共通KPI

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

- 2026年3月末時点での残高上位20銘柄のコスト・リターンは、コスト1.4%（2025年3月末比横ばい）、リスク12.1%（同比+0.8ポイント）に対してリターン11.7%（同比▲0.4ポイント）となりました。
- お客さまの資産形成ニーズの高まりを背景に、海外株式等を含む成長資産への分散投資が進展したことから、リスク水準は上昇しました。一方、マーケット環境等の影響により、リターンは前年を下回る結果となりました

2026年3月末

順位	銘柄名	運用会社	カテゴリ	コスト	リターン	リスク
1	Y Mアセット・バランスファンド（成長）	ワイエムAM	バランス	1.5%	1.9%	7.4%
2	Y Mアセット・好配当日本株ファンド	ワイエムAM	国内株式	1.8%	20.3%	13.5%
3	ピクテ・ゴールデン・リスクプレミアム F	ピクテ	バランス	2.2%	15.0%	10.4%
4	Y Mアセット・優良米国株ファンド	ワイエムAM	海外株式	2.0%	15.6%	16.9%
5	i F r e e S & P 5 0 0 インデックス	大和AM	海外株式	0.2%	19.5%	15.7%
6	e M A X I S S I m 全世界株式	三菱UFJAM	海外株式	0.1%	17.5%	13.7%
7	e M A X I S S I m 米国株式 S & P 5 0 0	三菱UFJAM	海外株式	0.1%	19.7%	15.7%
8	インベスコ世界厳選株式ヘッジなし毎月	インベスコAM	海外株式	2.7%	17.8%	13.4%
9	杏の実（毎月分配型）	大和AM	海外債券	1.7%	4.7%	8.8%
10	グローバルソブリンオープン（毎月決算型）	三菱UFJAM	海外債券	1.7%	3.8%	6.6%
11	ピクテ・ゴールド（為替ヘッジなし）	ピクテ	その他	1.2%	29.8%	17.4%
12	i F r e e 日経 2 2 5 インデックス	大和AM	国内株式	0.2%	13.8%	17.5%
13	A B 米国成長株投信 D（Hなし） 予想分配	アライアンス・バーンスタイン	海外株式	2.4%	15.2%	18.3%
14	フィデリティ・U S リート・ファントム B	フィデリティ	不動産	2.0%	12.5%	16.8%
15	i F r e e 外国株式インデックス／ヘッジ無	大和AM	海外株式	0.2%	18.5%	14.5%
16	Y Mアセット・バランスファンド（安定）	ワイエムAM	バランス	1.4%	-1.8%	6.6%
17	ストックインデックスファンド 2 2 5	大和AM	国内株式	0.7%	13.4%	17.5%
18	A B 米国成長株投信 B（為替ヘッジなし）	アライアンス・バーンスタイン	海外株式	2.4%	15.2%	18.4%
19	ダイワ・ライフ・バランス 5 0	大和AM	バランス	0.2%	7.4%	7.1%
20	財産 3 分法ファンド（毎月分配型）	アモーヴァAM	バランス	1.5%	5.7%	8.2%
残高加重平均値				1.4%	11.7%	12.1%

※リスク・リターンについては、新規取扱ファンドの取引開始前より以前の基準価額及び分配金単価がシステム上過去に遡って遡及できないことから、ウエルスアドバイザー社の算出するリスクリターン（直近5年のリスク・リターン、2026年3月末時点）にて算出しております。

② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよび リスク・リターン散布図_山口銀行

共通KPI

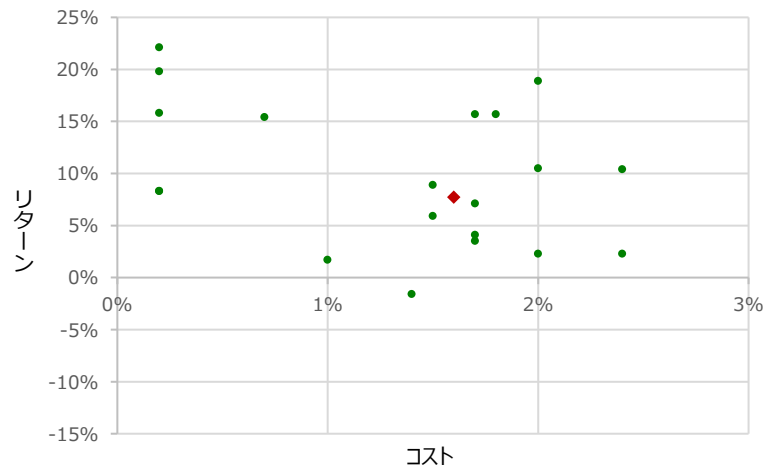
この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

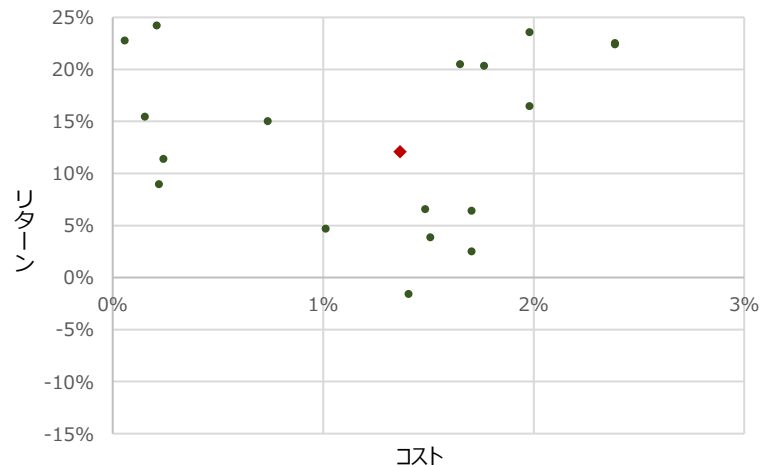
- 山口銀行における2024年3月末～2026年3月末時点コスト・リターンおよびリスク・リターンの散布図は下記のとおりです。
- 成長資産を含む分散投資の進展に伴いリスク水準は上昇したものの、市場環境等の影響により、加重平均リターンは前年対比で低下しました。

※表内の◆は加重平均を表しています。

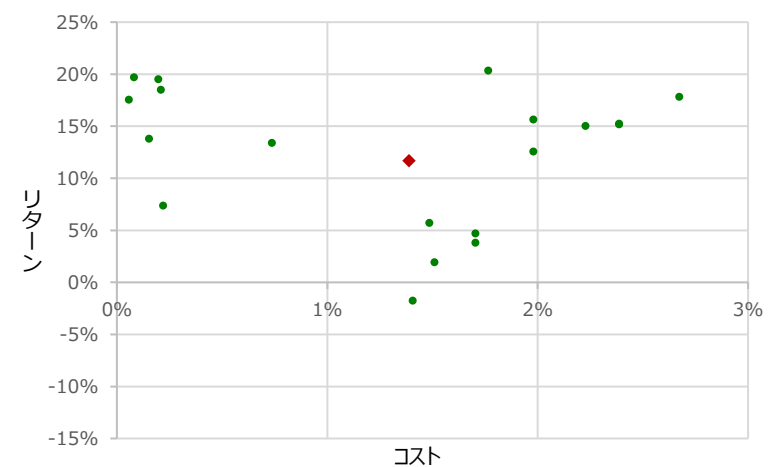
2024年3月末コスト・リターン



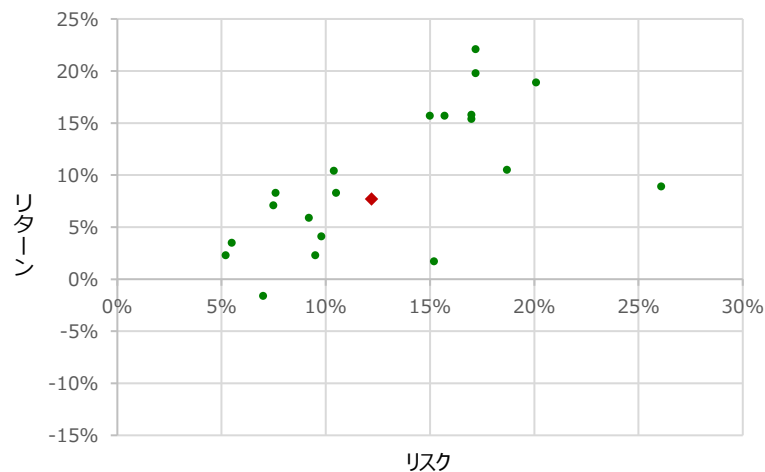
2025年3月末コスト・リターン



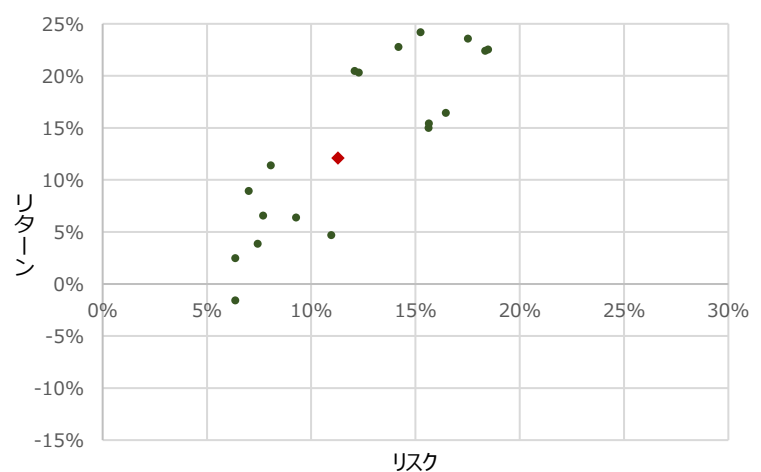
2026年3月末コスト・リターン



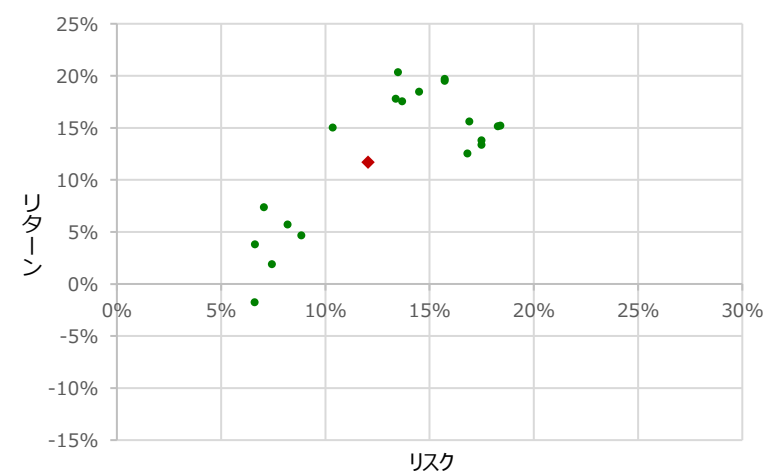
2024年3月末リスク・リターン



2025年3月末リスク・リターン



2026年3月末リスク・リターン



② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよび リスク・リターン_もみじ銀行

共通KPI

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

- 2026年3月末時点での残高上位20銘柄のコスト・リターンは、コスト1.4%（2025年3月末比横ばい）、リスク12.8%（同比+1.0ポイント）に対して、リターン12.5%（同比▲0.2ポイント）となりました。
- お客さまの資産形成ニーズの高まりを背景に、海外株式等を含む成長資産への分散投資が進展したことから、リスク水準は上昇しました。一方、市場環境等の影響により、加重平均リターンは前年を下回る結果となりました。

2026年3月末

順位	銘柄名	運用会社	カテゴリ	コスト	リターン	リスク
1	Y Mアセット・バランスファンド（成長）	ワイエムAM	バランス	1.5%	1.9%	7.4%
2	Y Mアセット・好配当日本株ファンド	ワイエムAM	国内株式	1.8%	20.3%	13.5%
3	Y Mアセット・優良米国株ファンド	ワイエムAM	海外株式	2.0%	15.6%	16.9%
4	i F r e e S & P 5 0 0 インデックス	大和AM	海外株式	0.2%	19.5%	15.7%
5	フィデリティ・U S リート・ファンド B	フィデリティ	不動産	2.0%	12.5%	16.8%
6	e M A X I S S I m 全世界株式	三菱UFJAM	海外株式	0.1%	17.5%	13.7%
7	ピクテ・ゴールド・リスクプレミアム F	ピクテ	バランス	2.2%	15.0%	10.4%
8	インデックスファンド 2 2 5	アモーヴァAM	国内株式	0.8%	13.4%	17.5%
9	e M A X I S S I m 米国株式 S & P 5 0 0	三菱UFJAM	海外株式	0.1%	19.7%	15.7%
10	インベスコ世界厳選株式ヘッジなし毎月	インベスコAM	海外株式	2.7%	17.8%	13.4%
11	i F r e e 日経 2 2 5 インデックス	大和AM	国内株式	0.2%	13.8%	17.5%
12	A B 米国成長株投信 D（Hなし） 予想分配	アライアンス・バーンスタイン	海外株式	2.4%	15.2%	18.3%
13	財産 3 分法ファンド（毎月分配型）	アモーヴァAM	バランス	1.5%	5.7%	8.2%
14	ピクテ・ゴールド（為替ヘッジなし）	ピクテ	その他	1.2%	29.8%	17.4%
15	ピクテグローバルインカム株式 毎月分配型	ピクテ	海外株式	2.3%	16.0%	13.2%
16	A B 米国成長株投信 B（為替ヘッジなし）	アライアンス・バーンスタイン	海外株式	2.4%	15.2%	18.4%
17	i F r e e 外国株式インデックス／ヘッジ無	大和AM	海外株式	0.2%	18.5%	14.5%
18	杏の実（毎月分配型）	大和AM	海外債券	1.7%	4.7%	8.8%
19	i F r e e 8 資産バランス	大和AM	バランス	0.2%	9.4%	8.0%
20	O n e J - R E I T インデックス 毎月	AMONE	不動産	0.9%	1.9%	10.0%
残高加重平均値				1.4%	12.5%	12.8%

※リスク・リターンについては、新規取扱ファンドの取引開始前より以前の基準価額及び分配金単価がシステム上過去に遡って遡及できないことから、ウエルスアドバイザー社の算出するリスクリターン（直近5年のリスク・リターン、2026年3月末時点）にて算出しております。

② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよび リスク・リターン散布図_もみじ銀行

共通KPI

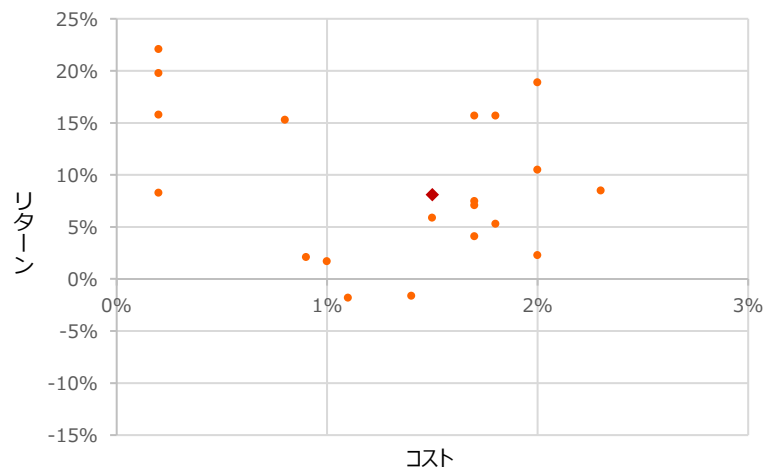
この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

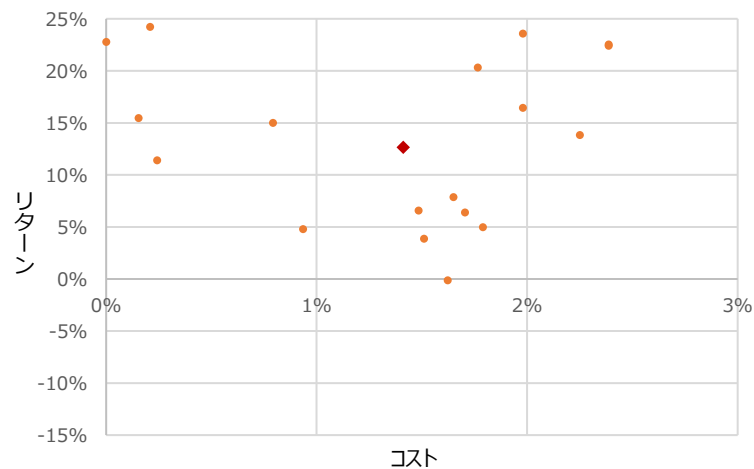
- もみじ銀行における2024年3月末～2026年3月末時点コスト・リターンおよびリスク・リターンの散布図は下記のとおりです。
- 成長資産を含む分散投資の進展に伴いリスク水準は上昇したものの、市場環境等の影響により、加重平均リターンは前年対比で低下しました。

※表内の◆は加重平均を表しています。

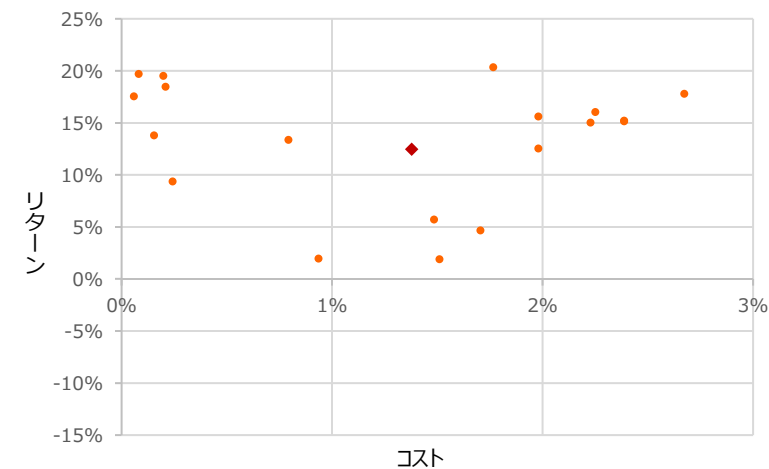
2024年3月末コスト・リターン



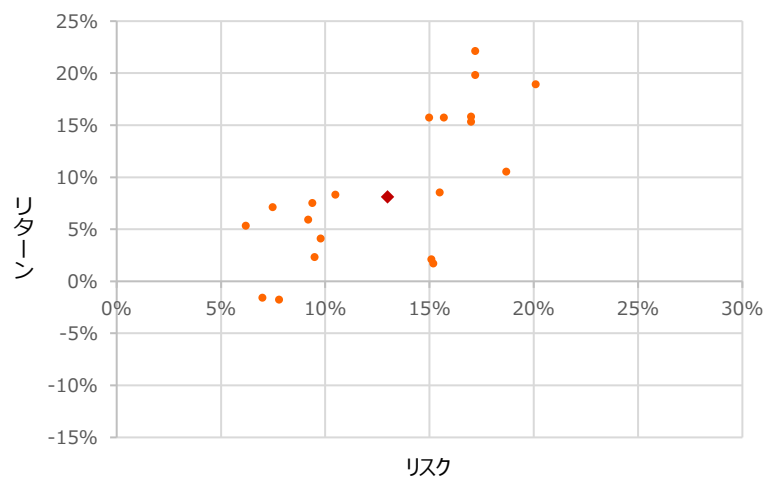
2025年3月末コスト・リターン



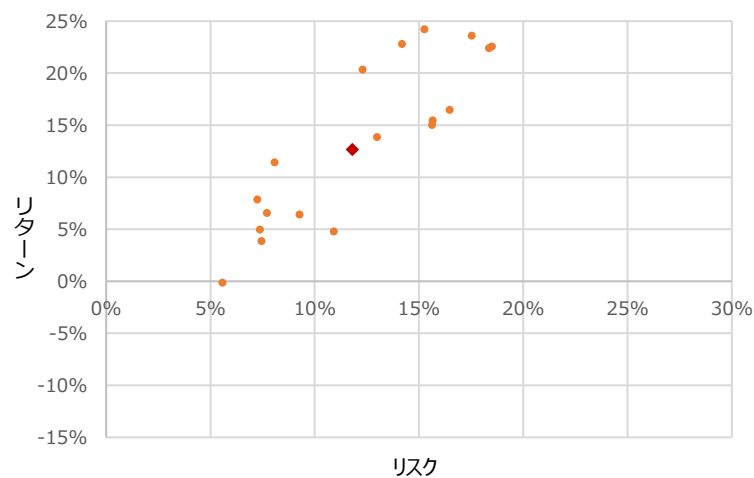
2026年3月末コスト・リターン



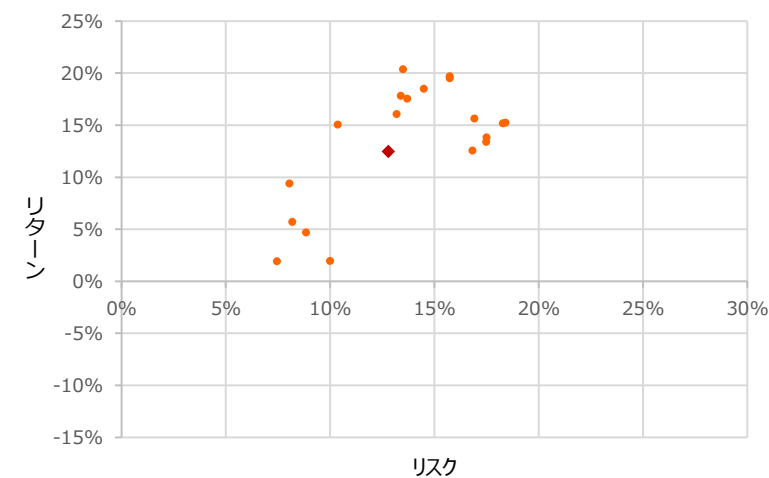
2024年3月末リスク・リターン



2025年3月末リスク・リターン



2026年3月末リスク・リターン



② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよび リスク・リターン_北九州銀行

共通KPI

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

- 2026年3月末時点での残高上位20銘柄のコスト・リターンは、コスト1.5%（2025年3月末比+0.1ポイント）、リスク14.2%（同比+0.6ポイント）に対してリターン15.8%（同比▲0.7ポイント）となりました。
- お客さまの資産形成ニーズの高まりを背景に、海外株式等を含む成長資産やバランス型商品への投資が進展したことから、リスク水準は上昇しました。一方、市場環境等の影響により、加重平均リターンは前年を下回る結果となりました。

2026年3月末

順位	銘柄名	運用会社	カテゴリ	コスト	リターン	リスク
1	ピクテ・ゴールド・リスクプレミアム F	ピクテ	バランス	2.2%	15.0%	10.4%
2	Y Mアセット・好配当日本株ファンド	ワイエムAM	国内株式	1.8%	20.3%	13.5%
3	Y Mアセット・優良米国株ファンド	ワイエムAM	海外株式	2.0%	15.6%	16.9%
4	ピクテ・ゴールド（為替ヘッジなし）	ピクテ	その他	1.2%	29.8%	17.4%
5	インベスコ世界厳選株式ヘッジなし毎月	インベスコAM	海外株式	2.7%	17.8%	13.4%
6	e M A X I S S I m 全世界株式	三菱UFJAM	海外株式	0.1%	17.5%	13.7%
7	ストックインデックスファンド 2 2 5	大和AM	国内株式	0.7%	13.4%	17.5%
8	i F r e e S & P 5 0 0 インデックス	大和AM	海外株式	0.2%	19.5%	15.7%
9	e M A X I S S I m 米国株式 S & P 5 0 0	三菱UFJAM	海外株式	0.1%	19.7%	15.7%
10	杏の実（毎月分配型）	大和AM	海外債券	1.7%	4.7%	8.8%
11	フィデリティ・U S リート・ファント" B	フィデリティ	不動産	2.0%	12.5%	16.8%
12	i F r e e 日経 2 2 5 インデックス	大和AM	国内株式	0.2%	13.8%	17.5%
13	A B 米国成長株投信 B（為替ヘッジなし）	アライアンス・バーンスタイン	海外株式	2.4%	15.2%	18.4%
14	フィデリティ・世界割安成長株 B（H 無）	フィデリティ	海外株式	2.3%	14.0%	13.3%
15	Y Mアセット・バランスファンド（成長）	ワイエムAM	バランス	1.5%	1.9%	7.4%
16	A B 米国成長株投信 D（H なし） 予想分配	アライアンス・バーンスタイン	海外株式	2.4%	15.2%	18.3%
17	グローバルソブリンオープン（毎月決算型）	三菱UFJAM	海外債券	1.7%	3.8%	6.6%
18	グローバルハイインカムストックファンド	野村AM	海外株式	1.7%	18.1%	11.1%
19	世界インフラ戦略ファンド（資産成長型）	大和AM	海外株式	2.1%	11.0%	16.3%
20	インベスコ世界厳選株式ヘッジなし年 1	インベスコAM	海外株式	2.7%	1.9%	10.0%
残高加重平均値				1.5%	15.8%	14.2%

② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよび リスク・リターン散布図_北九州銀行

共通KPI

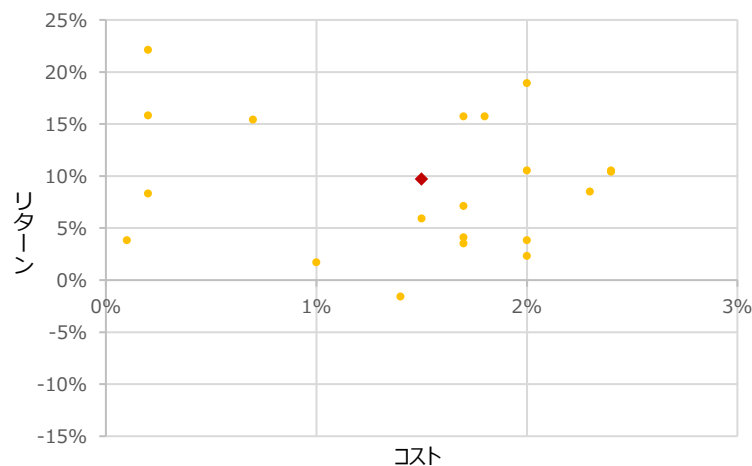
この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

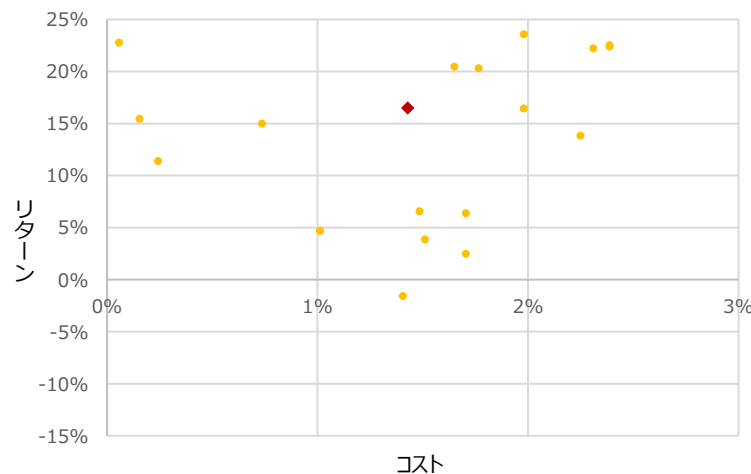
- 北九州銀行における2024年3月末～2026年3月末時点コスト・リターンおよびリスク・リターンの散布図は下記のとおりです。
- 成長資産を含む分散投資の進展に伴いリスク水準は上昇したものの、市場環境等の影響により、加重平均リターンは前年対比で低下しました。

※表内の◆は加重平均を表しています。

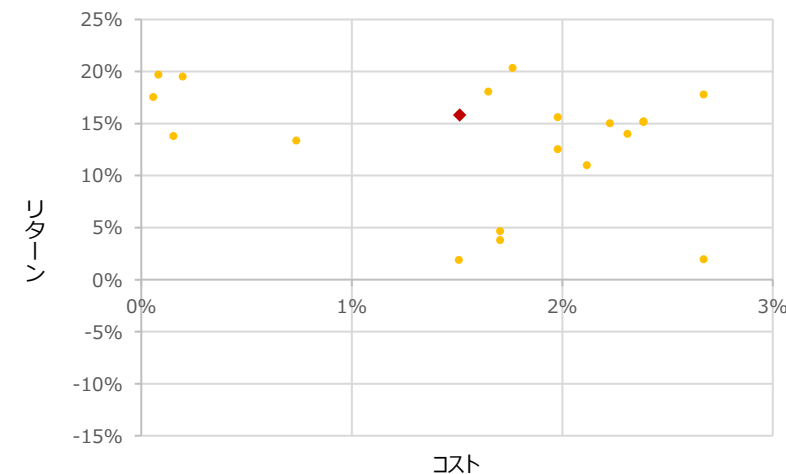
2024年3月末コスト・リターン



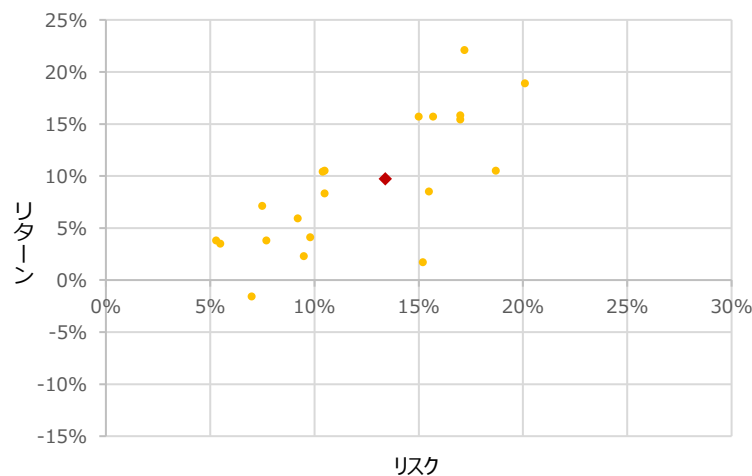
2025年3月末コスト・リターン



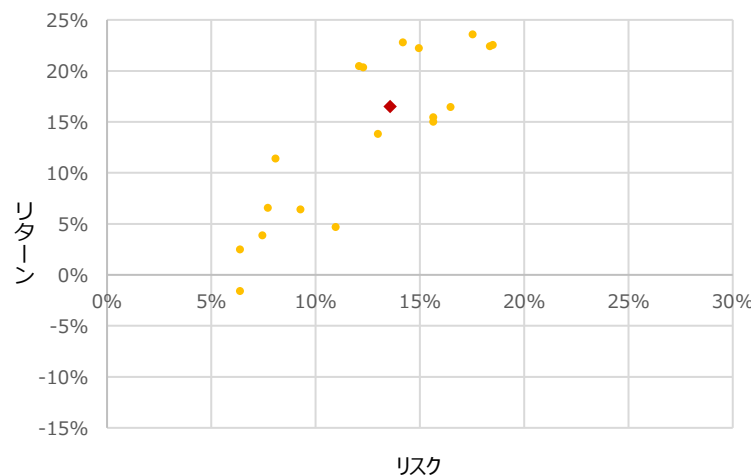
2026年3月末コスト・リターン



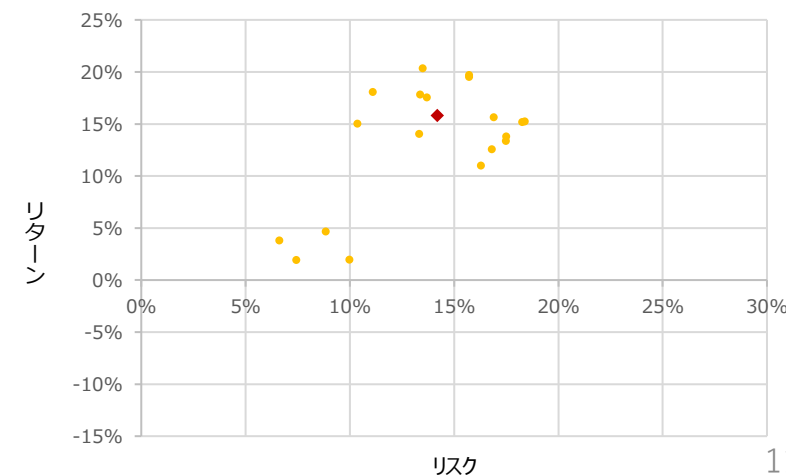
2024年3月末リスク・リターン



2025年3月末リスク・リターン



2026年3月末リスク・リターン



コスト・リターン

リスク・リターン

② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよび リスク・リターン_ワイエム証券

共通KPI

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

- 2026年3月末時点での残高上位20銘柄のコスト・リターンは、コスト2.4%（2025年3月末比横ばい）、リスク15.6%（同比▲0.9ポイント）に対してリターン15.7%（同比▲5.8ポイント）となりました。
- 海外株式を中心とした市場環境の改善を受け、リスクを取りながらも効率的なリターンを得られています。

2026年3月末

順位	銘柄名	運用会社	カテゴリ	コスト	リターン	リスク
1	インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替Hなし＞（毎月決算型）	インベスコAM	株式	2.6%	17.8%	13.4%
2	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Dコース	アライアンス・バーンスタイン	株式	2.4%	15.2%	18.3%
3	Y Mアセット・優良米国株ファンド	ワイエムAM	株式	2.0%	15.6%	16.9%
4	ピクテ・ゴールデン・リスクプレミアム・ファンド	ピクテ	バランス	2.4%	15.0%	10.4%
5	Y Mアセット・好配当日本株ファンド	ワイエムAM	株式	1.8%	20.3%	13.5%
6	ピクテ・バイオ医薬品 F（毎月決算型）為替ヘッジなしコース	ピクテ	株式	2.8%	12.3%	16.5%
7	n e t W I N G Sテクノロジー株式ファンド B（ヘッジなし）	GSAM	株式	2.8%	16.3%	22.8%
8	ラサール・グローバル R E I T ファンド（毎月分配型）	アモーヴァAM	不動産	2.1%	11.7%	15.2%
9	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	三井住友トラストAM	株式	2.5%	16.3%	25.2%
10	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Bコース	アライアンス・バーンスタイン	株式	2.4%	15.2%	18.4%
11	インベスコ世界厳選株式オープン＜為替Hなし＞（年1回決算型）	インベスコAM	株式	2.6%	17.8%	13.4%
12	ニッセイ宇宙関連グローバル株式 F（資産成長型・為替Hなし）	ニッセイAM	株式	2.6%	16.4%	17.9%
13	東京海上・世界モノポリー戦略株式ファンド（毎月決算型）	東京海上AM	株式	2.5%	14.5%	11.6%
14	イーストスプリング・インド株式 3ヵ月決算・予想分配金提示型	イーストスプリング	株式	2.6%	11.3%	15.5%
15	グローバル A I ファンド	三井住友DSAM	株式	2.6%	10.3%	25.3%
16	イーストスプリング・インド株式オープン	イーストスプリング	株式	2.6%	11.3%	15.6%
17	J - R E I T ・リサーチ・オープン（毎月決算型）	三井住友トラストAM	不動産	1.5%	1.8%	10.0%
18	グローバル・ロボティクス株式ファンド（年2回決算型）	アモーヴァAM	株式	2.6%	13.9%	20.6%
19	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	ピクテ	株式	2.3%	16.0%	13.2%
20	ジャパン・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）	アモーヴァAM	株式	2.4%	8.6%	19.0%
残高加重平均値				2.4%	15.7%	15.6%

※従来は、KPIの算出期間である5年前の分配落ち後基準価額を起点とし、各期の分配落ち後基準価額に分配金を累積加算した基準価額を用いて、直近5年のリスク・リターンを算出しておりました。今回より、算出に用いる基準価額を、設定来の分配金再投資後（税引前）の基準価額に変更し、直近5年のリスク・リターンを算出しております。

② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよび リスク・リターン散布図_ワイエム証券

共通KPI

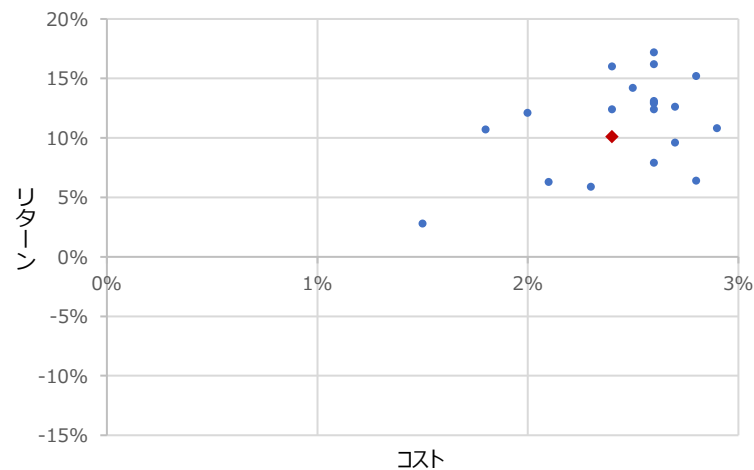
この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

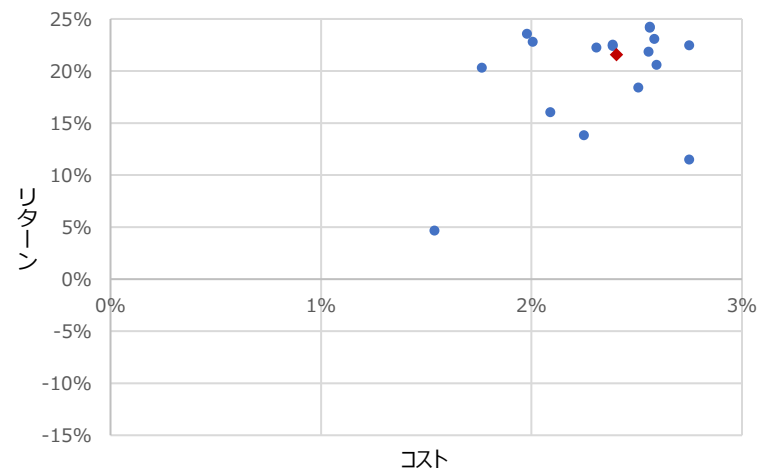
- ワイエム証券における2024年3月末～2026年3月末時点コスト・リターンおよびリスク・リターンの散布図は下記のとおりです。
- 成長資産を含む分散投資の進展に伴いリスク水準は上昇したものの、市場環境等の影響により、加重平均リターンは前年対比で低下しました。

※表内の◆は加重平均を表しています。

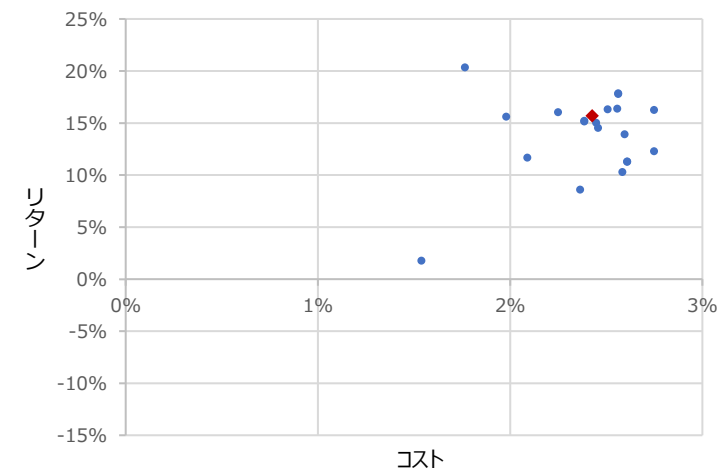
2024年3月末コスト・リターン



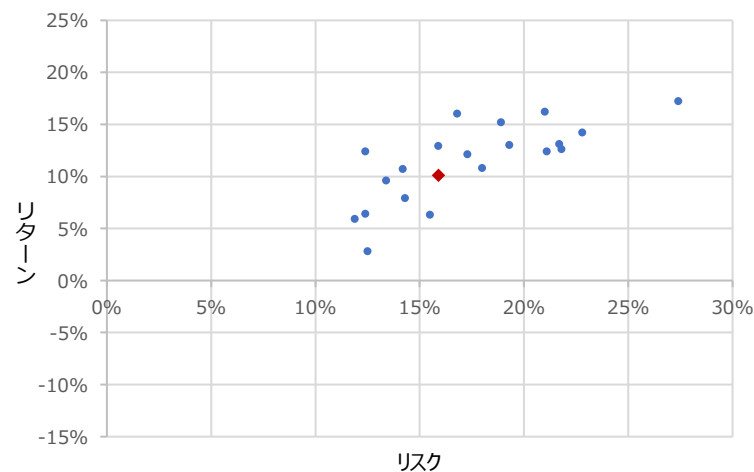
2025年3月末コスト・リターン



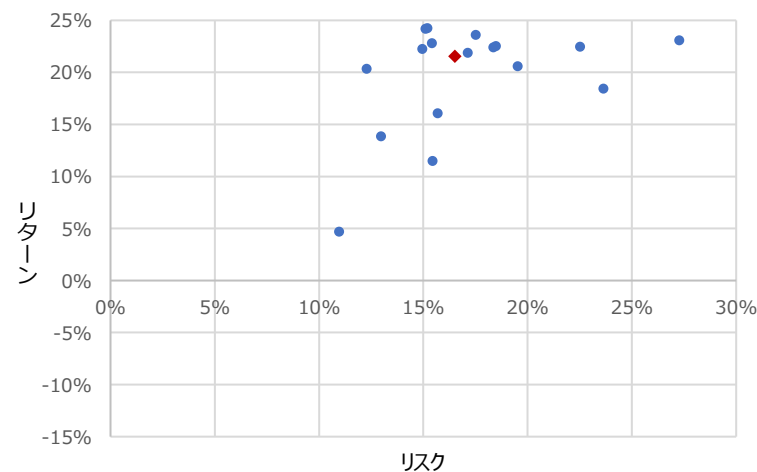
2026年3月末コスト・リターン



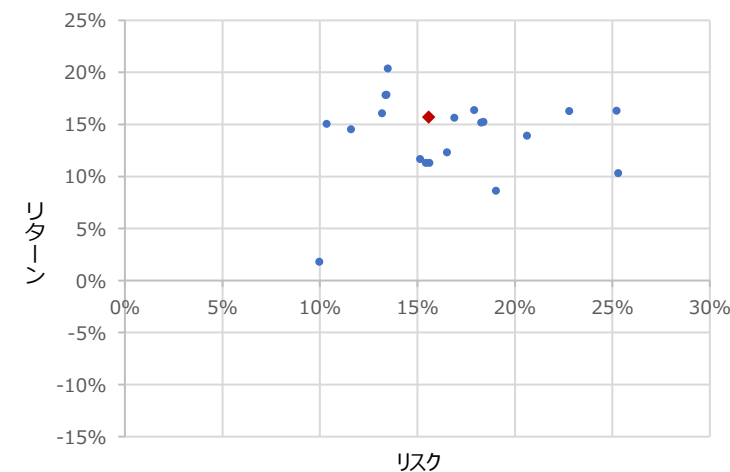
2024年3月末リスク・リターン



2025年3月末リスク・リターン



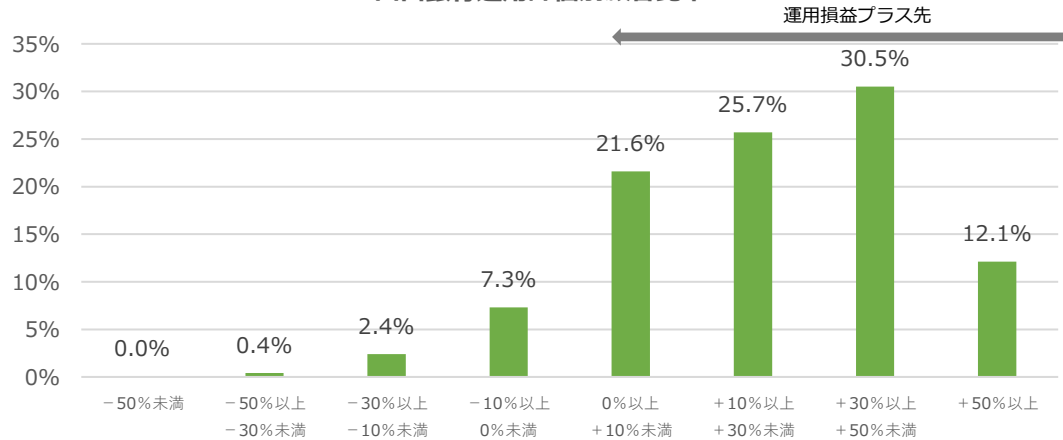
2026年3月末リスク・リターン



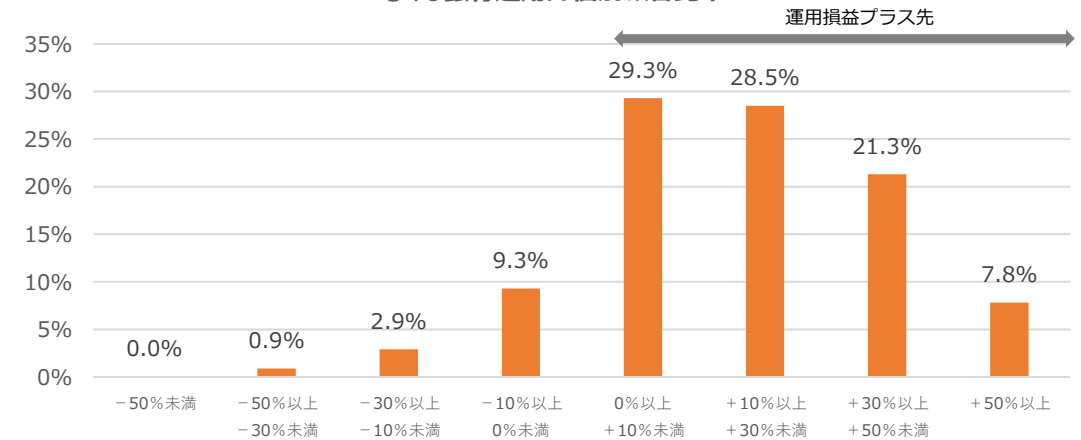
③ 外貨建保険の運用評価別顧客比率_3 銀行

- 2026年3月末時点で運用評価がプラスのお客さまは、山口銀行89.9%（2025年3月末比+15.5ポイント）、もみじ銀行86.9%（同比+25.3ポイント）、北九州銀行86.2%（同比+17.0ポイント）となっております。
- 外貨建保険については、為替相場が円安水準で推移したことや、保有期間の経過等を背景に、円換算での評価額が改善しました。

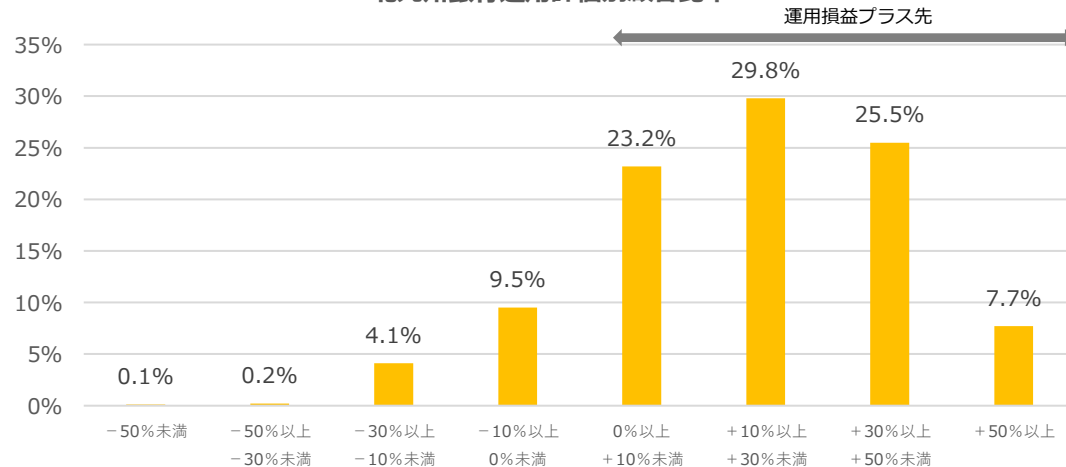
山口銀行運用評価別顧客比率



もみじ銀行運用評価別顧客比率



北九州銀行運用評価別顧客比率



【運用評価プラスのお客さま比率】（2024年3月末～2026年3月末）

	2024年3月	2025年3月	2026年3月	2025年3月比
山口銀行	90.0%	74.4%	89.9%	+15.5ポイント
もみじ銀行	86.9%	61.6%	86.9%	+25.3ポイント
北九州銀行	87.9%	69.2%	86.2%	+17.0ポイント

④ 外貨建保険預り残高上位20商品のコスト・リターン_3銀行

- 2026年3月末時点での残高上位20商品のコスト・リターンは、山口銀行でコスト0.6%（2025年3月末比▲0.1ポイント）、リターン3.6%（同比+1.2ポイント）、もみじ銀行でコスト0.6%（同比▲0.1ポイント）、リターン3.5%（同比+1.1ポイント）、北九州銀行でコスト0.6%（同比▲0.1ポイント）、リターン3.6%（同比+1.2ポイント）となりました。

山口銀行（2026年3月末）

順位	銘柄名	コスト	リターン
1	サニーガーデン E X	0.6%	4.2%
2	サニーガーデン	0.5%	2.8%
3	やさしさ、つなぐ	0.5%	1.5%
4	プレミアレシーブ（外貨建）	0.6%	4.5%
5	ビー ウィズ ユー プラス	0.8%	0.4%
6	しあわせ、ずっと	0.6%	1.7%
7	外貨建・エブリバディプラス	0.6%	3.6%
8	ロングドリーム G O L D 2	0.7%	6.6%
9	ロングドリーム G O L D	0.6%	1.5%
10	ロングドリーム G O L D 3	0.8%	5.4%
11	しあわせ、ずっと 2	0.9%	4.0%
12	プレミアストーリー 2	0.7%	4.1%
13	ふるはーと J グローバル II	0.7%	2.8%
14	ビーウィズユー	0.5%	3.3%
15	指定通貨建終身保険	1.1%	1.2%
16	プレミアカレンシー・プラス 2	0.6%	3.5%
17	あしたの、よろこび 2	1.0%	-0.4%
18	プレミアストーリー 3	1.0%	5.1%
19	あしたの、よろこび	0.8%	4.5%
20	アップサイドプラス	0.9%	2.3%
残高加重平均		0.6%	3.6%

もみじ銀行（2026年3月末）

順位	銘柄名	コスト	リターン
1	サニーガーデン E X	0.6%	4.2%
2	サニーガーデン	0.5%	2.6%
3	プレミアレシーブ（外貨建）	0.6%	4.5%
4	やさしさ、つなぐ	0.6%	1.8%
5	ビー ウィズ ユー プラス	0.8%	0.5%
6	ロングドリーム G O L D	0.6%	0.9%
7	ロングドリーム G O L D 2	0.7%	6.6%
8	しあわせ、ずっと	0.5%	1.4%
9	しあわせ、ずっと 2	0.9%	3.4%
10	ロングドリーム G O L D 3	0.8%	5.1%
11	外貨建・エブリバディプラス	0.6%	2.6%
12	アップサイドプラス	0.9%	2.8%
13	プレミアプレゼント 2	0.9%	0.0%
14	あしたの、よろこび 2	0.9%	2.3%
15	ふるはーと J グローバル II	0.7%	3.0%
16	プレミアカレンシー・プラス 2	0.6%	2.4%
17	プレミアストーリー 2	0.7%	3.9%
18	デュアルドリーム	0.9%	1.4%
19	プレミアストーリー 3	0.7%	4.8%
20	あしたの、よろこび	0.8%	4.2%
残高加重平均		0.6%	3.5%

北九州銀行（2026年3月末）

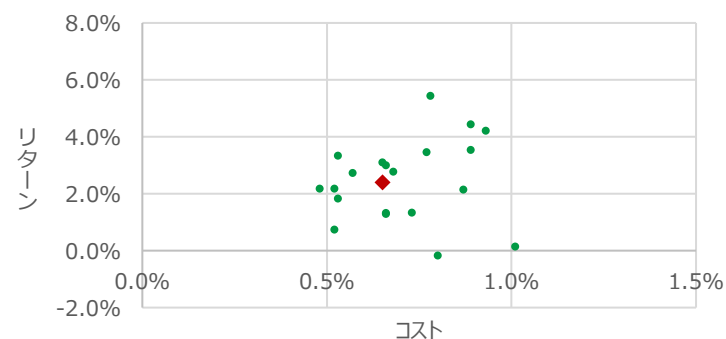
順位	銘柄名	コスト	リターン
1	サニーガーデン E X	0.6%	4.4%
2	サニーガーデン	0.5%	2.6%
3	やさしさ、つなぐ	0.4%	1.2%
4	ビー ウィズ ユー プラス	0.9%	-0.9%
5	ロングドリーム G O L D	0.6%	2.0%
6	ロングドリーム G O L D 3	0.8%	5.9%
7	プレミアレシーブ（外貨建）	0.7%	5.3%
8	しあわせ、ずっと	0.6%	1.6%
9	外貨建・エブリバディプラス	0.5%	4.9%
10	ロングドリーム G O L D 2	0.7%	6.5%
11	デュアルドリーム	0.7%	1.6%
12	ふるはーと J グローバル II	0.7%	1.0%
13	しあわせ、ずっと 2	0.8%	5.7%
14	たのしみグローバル（指数）	0.6%	4.5%
15	プレミアプレゼント 2	0.9%	-0.9%
16	アップサイドプラス	1.0%	1.9%
17	ビーウィズユー	0.5%	4.8%
18	プレミアストーリー 2	0.7%	3.6%
19	指定通貨建終身保険	1.1%	3.6%
20	プレミアプレゼント	0.8%	2.0%
残高加重平均		0.6%	3.6%

④ 外貨建保険預り残高上位20商品のコスト・リターン散布図_3銀行

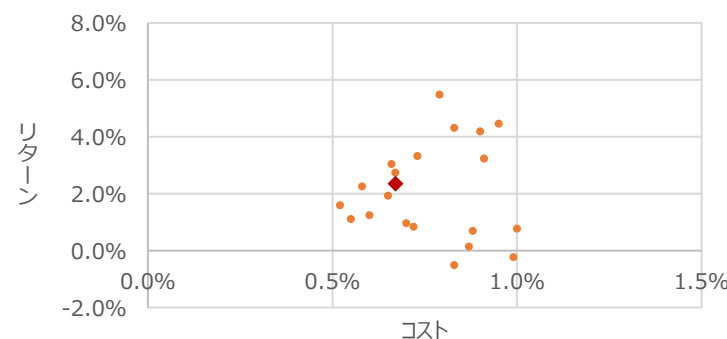
- 外貨建保険預り残高上位20商品における2025年3月末～2026年3月末時点コスト・リターンの散布図は下記のとおりです。

※表内の◆が加重平均を表しています。

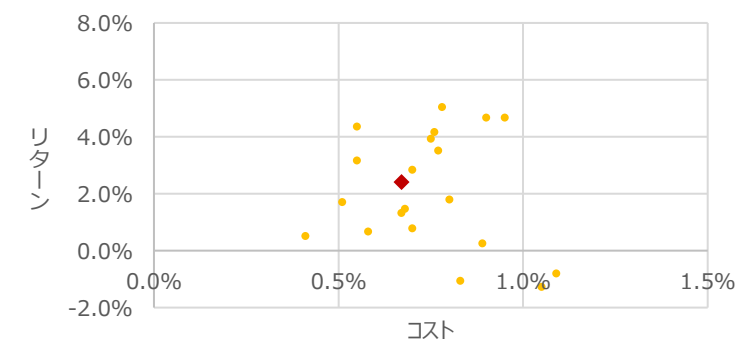
2025年3月末：山口銀行



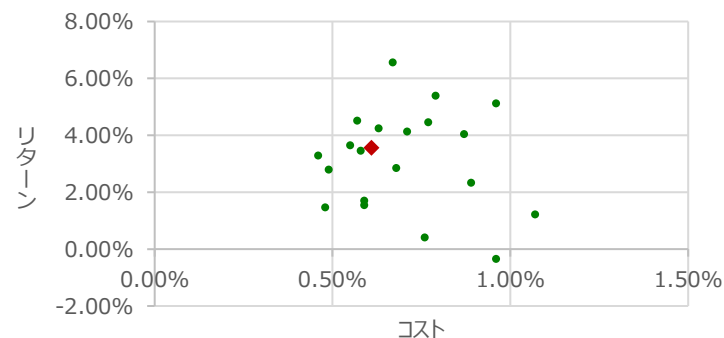
2025年3月末：もみじ銀行



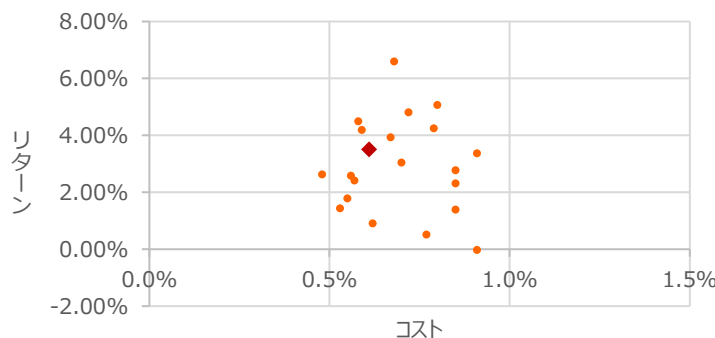
2025年3月末：北九州銀行



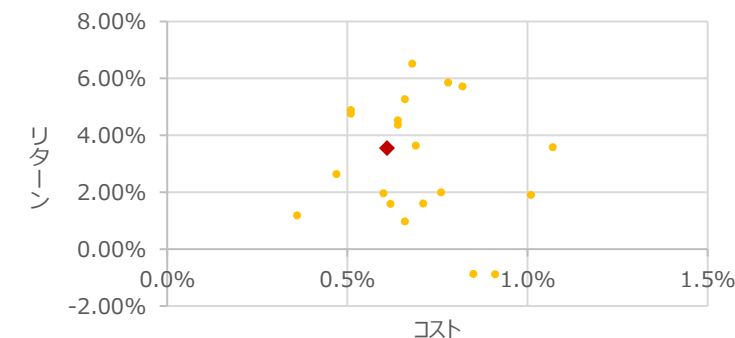
2026年3月末：山口銀行



2026年3月末：もみじ銀行



2026年3月末：北九州銀行



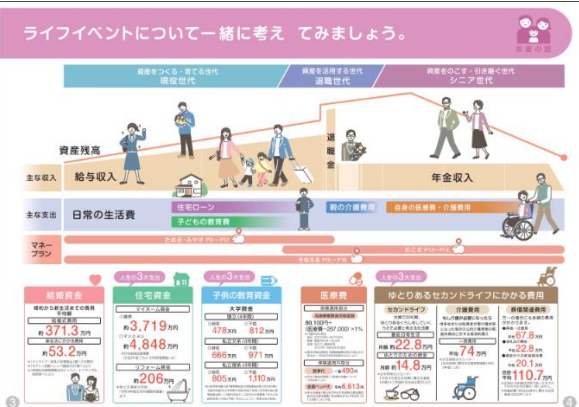
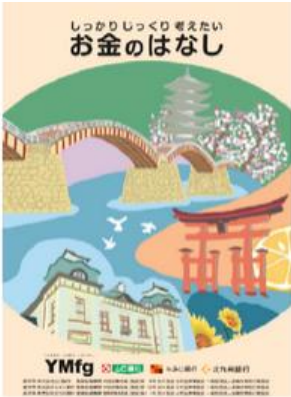
※外貨建保険は保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合があります。
※解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

取組状況と独自KPI

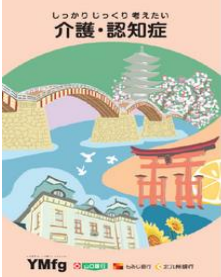
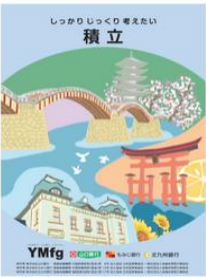
お客さまへのコンサルティング

- グループ3銀行では、情報提供資料およびニーズに応じた全5分野のコンサルティング支援ツール（FPアドバイスシート）等を活用することで、お客さまとの対話等を通じて多様化するお客さまのニーズを把握し、最善の利益の実現に努めてまいります。

■ 情報提供資料「しっかりじっくり考えたいお金のはなし」



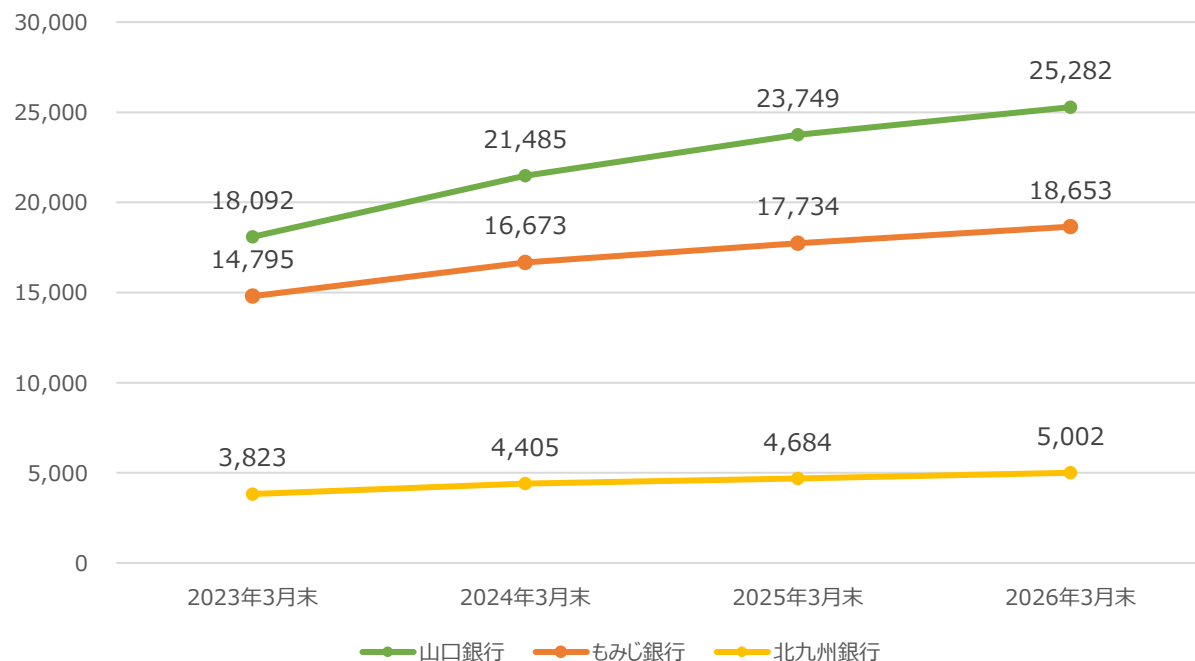
■ FPアドバイスシート（全5分野）



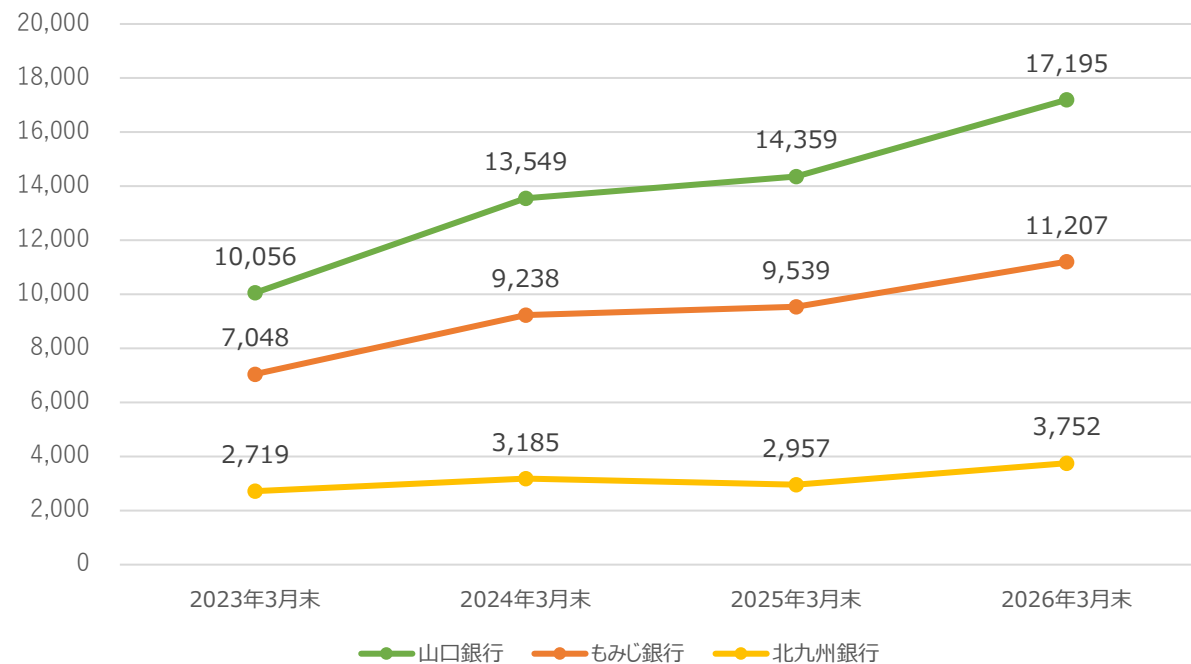
投資信託・積立投信の契約先数

- 各種ツール等を活用した長期分散投資の提案により、投資信託契約先数は3行計48,937先（2025年3月末比プラス6.0%）と増加しました。
- また、積立投資信託契約先数は3行計32,154先（同比プラス19.7%）と大きく伸長しており、資産形成ニーズの高まりがうかがえます。

投資信託契約先数



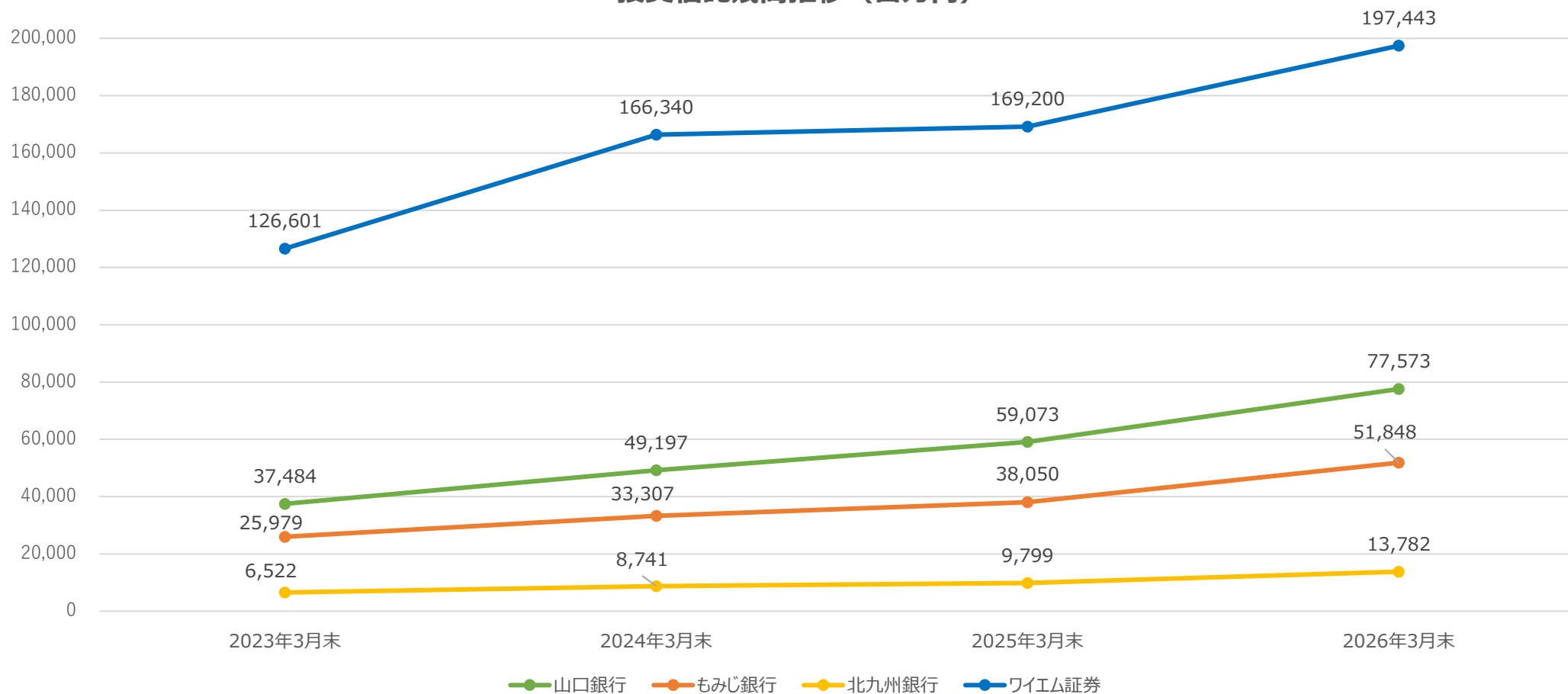
積立投資信託契約先数



投資信託残高

- NISA制度を契機とした資産形成ニーズの高まりや継続的な資金流入等により、グループでの投資信託残高は340,646百万円となり、2025年3月末比で増加しました。
- 今後も商品ラインアップの整備やポートフォリオ提案等を通じて、お客さまの最善の利益につながるよう、預かり資産残高の拡大に取り組めます。

投資信託残高推移（百万円）



重要情報シート等を活用した分かりやすい情報提供

- お客さまが適切に商品・サービスを選択できるよう、2022年4月より、金融庁が活用を推奨する「重要情報シート」をグループ3銀行、ワイエム証券およびYMFGグロースパートナーズにて導入しております。当社グループにおける商品組成会社であるワイエムアセットマネジメントは、重要情報シート作成のための自社ファンド情報を販売会社に提供しております。
- グループ3銀行では、すべてのリスク性金融商品の提案時には、重要情報シート（金融事業者編）と合わせて「附表（横断比較シート）」を使用し、各商品の特徴やリスク・リターン、利回り等の比較、説明を行っています。
- 各種手数料について、契約締結前交付書面・目論見書・重要情報シート等を用い、お客さまにご理解いただけるよう丁寧にご説明に努めてまいります。

■ 重要情報シート

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る重要情報シート			
1. 当行の基本情報			
社名	株式会社山口銀行		
登録番号	中国財務局長（金商）第6号		
加入協会	日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引振興協会		
当行の概要を記したウェブサイト	https://www.yamaguchibank.co.jp/		
2. 取扱商品（当行がお客さまに提供できる金融商品の種類は次のとおりです）			
預金（投資性なし）	○	預金（投資性あり）	○
国内株式	△（※1）	外国株式	△（※1）
円建て債券（※2）	△（※1）	外貨建て債券	△（※1）
特殊な債券（仕組債等）	—	投資信託	○
ラップ口座	△（※1）	ETF	△（※1）
REIT	△（※1）	その他の上場商品	△（※1）
保険（投資リスクなし）	○	保険（投資リスクあり）	○
これらのほかの商品	DVC（個人型確定拠出年金）等も取扱っております。		
（※1）ワイエム証券への委託商品（※2）により提供しております。			
（※2）当行では現在、公共債を取扱っております。			
3. 商品ラインアップの考え方（商品選定のコンセプトや留意点は次のとおりです）			
●お客さま一人ひとりの資産状況・価値観・知識・経験・ニーズ及びライフプラン等を踏まえたうえで、お客さまの最善の利益に資するコンサルティングを行えるよう、幅広いラインアップを構築しております。			
●市場環境に応じて、お客さまの資産形成の観点から必要となる、多様なカテゴリー/バリエーションの商品を取り揃えております。また、下記のいずれかに当てはまるものを重視してご提供いたします。			
① 過去のリスク対比が優れている商品、運用会社において適切な分析・評価のもと運用されているもの			
② 経済動向等を考慮し、中長期的に安定した運用成果が期待できるもの			
③ お客さまのライフプランに即応しお求めやすい方々の生活の支えとなることが期待されるもの			
●当行においては、預金・保険・投資信託等に限定せず、株式等の金融商品につきましても、グループ会社であるワイエム証券への金融商品紹介により提供いたします。			
4. 苦情・相談窓口			
当行のお客さま相談窓口（受付時間：平日9時～17時30分）			083-223-6075
加入協会共通の相談窓口（受付時間：平日9時～17時）	全国銀行協会相談室 （受付時間：平日9時～17時）		0570-017109 （03-5252-3772）
特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせんセンター （受付時間：平日9時～17時）	証券・金融商品あっせんセンター （受付時間：平日9時～17時）		0120-64-5005
保険業協会の相談窓口 一般社団法人生命保険協会 生命保険相談所 （受付時間：平日9時～17時）	一般社団法人生命保険協会 生命保険相談所 （受付時間：平日9時～17時）		03-3266-2648
金融庁金融サービス利用者相談室（受付時間：平日10時～17時）			0370-016811 （03-5251-6811）
2026年（令和8）年			

2026年2月現在

■ 重要情報シート附表

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る
重要情報シート（金融事業者編）

ワイエム証券 YMF

2022年4月1日

1. 当社の基本情報 当社はお客さまに金融商品の販売をする者です

社名	ワイエム証券株式会社
登録番号	中国財務局長（金商）第 8 号
加入協会	日本証券業協会
当社の概要を記したウェブサイト	https://www.ymsecc.co.jp/

2. 取扱商品 当社がお客さまに提供できる金融商品の種類は次のとおりです

預金（投資性なし）	—	預金（投資性あり）	—
国内株式	○	外国株式	○
円建て債券	○	外貨建て債券	○
特殊な債券（仕組債等）	○	投資信託	○
ラップ口座	○	ETF、ETN	○
REIT	○	その他の上場商品	○
保険（投資リスクなし）	—	保険（投資リスクあり）	—
これらのほかの商品			

3. 商品ラインナップの考え方 商品選定のコンセプトや留意点は次のとおりです

- ・当社は、山口フィナンシャルグループの一員として、銀行では取り扱っていない商品・サービスを幅広く提供することにより、お客さまの多様な資産運用ニーズにお応えし、地域のお役に立ちたいと考えております。
- ・運用商品に関しては、運用会社から支払われる手数料やグループ会社から提供される商品に比べられることなく、中長期投資を中心とした商品の運用実績、内外環境や市場動向などを踏まえて、多様な商品群の中からお客さまにふさわしい商品を選定いたします。
- ・お客さまの投資経験、投資スタイルにあわせて、比較リスクが小さく商品内容がわかりやすい商品から、有価証券投資のご経験が豊かなお客さまのニーズにお応えする商品まで、幅広く取り揃えております。

4. 苦情・相談窓口

当社にお客さま相談窓口	083-223-0190 （受付時間：平日9時30分～17時30分）
加入協会共通の相談窓口 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（FINMAC）	0120-64-5005 （受付時間：平日9時～17時）
金融庁金融サービス利用者相談室	0570-016811 （03-5251-6811）

資産運用をお考えのお客さまへのご案内 ～各商品の特徴を確認・比較してみましょう～

円預金 つかう ためる		円建債券 ためる ひやす		外貨預金 ためる ひやす		外貨建債券 ためる ひやす		投資信託 ひやす		一時払生命保険 のこす ためる	
●元本割れしないもので運用したい ●利子を受け取りながら運用したい ●預金のしやすさを重視したい		●利率・年数を決めて運用したい ●利子を受け取りながら運用したい ●預金のしやすさを重視したい		●利率・年数を決めて運用したい ●利子を受け取りながら運用したい ●預金のしやすさを重視したい		●利率・年数を決めて運用したい ●利子を受け取りながら運用したい ●預金のしやすさを重視したい		●幅広い資産へ分散投資したい ●運用の専門家が選んだ株や債券などの銘柄を分散して運用したい ●NISAを活用したい		●保障機能と貯蓄機能の両方を備えたい ●様々な機能を確保したい （例：死亡・介護・遺言・年金受取・贈与等）※NISAによって異なります	
●日本円を預け入れたい ●普通預金や定期預金があります		●購入代金の払込や利子・償還金を受け取りがすべて円建てで行われる商品です ●利率・発行価格・償還期間等の発行条件が決まっています ●定期的に利子を受け取ることができ、満期時には元本が償還されるのが特徴です （※一部商品がワイエム証券への委託商品（※）により提供しております）		●日本円以外の外貨を預け入れたい ●普通預金や定期預金があります		●購入代金の払込や利子・償還金を受け取りがすべて外貨で行われる商品です ●利率・発行価格・償還期間等の発行条件が決まっています ●定期的に利子を受け取ることができ、満期時には元本が償還されるのが特徴です （※ワイエム証券への委託商品（※）により提供しております）		●お客さまから指定した資産を1つにまとめ、運用の専門家である運用会社が国内外の株式や債券などに投資（運用）を行います。その運用成果をお客さまに分配する金融商品です		●保障機能と貯蓄機能の両方を備えた商品であり、ライフプランや資産形成に合わせた様々な機能を確保できます （例：死亡・介護・遺言・年金受取・贈与等）※NISAによって異なります	
しくみ		しくみ		しくみ		しくみ		しくみ		しくみ	
リスク		リスク		リスク		リスク		リスク		リスク	
リターン		リターン		リターン		リターン		リターン		リターン	
（ご参考）		（ご参考）		（ご参考）		（ご参考）		（ご参考）		（ご参考）	
一般的な費用のイメージ		一般的な費用のイメージ		一般的な費用のイメージ		一般的な費用のイメージ		一般的な費用のイメージ		一般的な費用のイメージ	
購入・契約時		購入・契約時		購入・契約時		購入・契約時		購入・契約時		購入・契約時	
保有・契約期間中		保有・契約期間中		保有・契約期間中		保有・契約期間中		保有・契約期間中		保有・契約期間中	
換金・解約時		換金・解約時		換金・解約時		換金・解約時		換金・解約時		換金・解約時	

上記資料は、情報提供を目的とした一般的な概要を説明したものであり、個別の商品説明を行うものではありません。裏面の留意事項についても合わせてご確認ください。

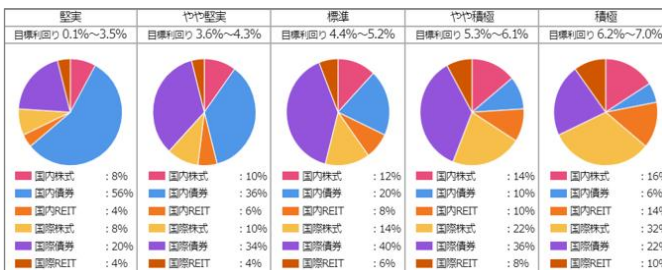
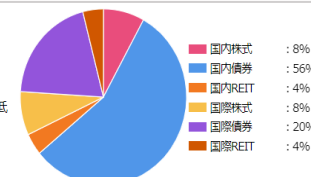
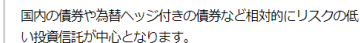
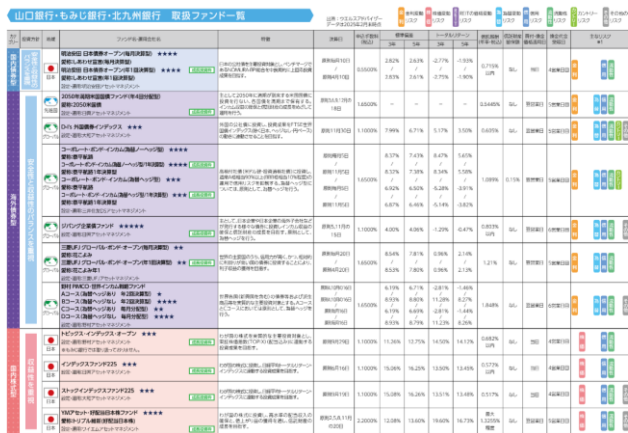
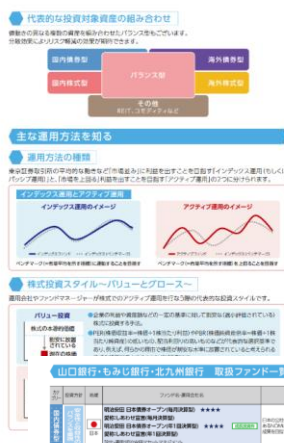
2026年2月・期

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

- ・ グループ3銀行においては、2024年9月に情報提供資料「投資信託ラインアップ」を、投資信託に関する情報提供のために活用しています。
- ・ グループ3銀行及びワイエム証券においては、ウエルスアドバイザー社が提供するポートフォリオ提案ツール「Wealth Advisor」を活用しています。
- ・ ツールを活用のうえ、お客さまの保有資産の見える化や投資目的、リスク許容度等に応じたポートフォリオ作成、リバランス提案を行ってまいります。

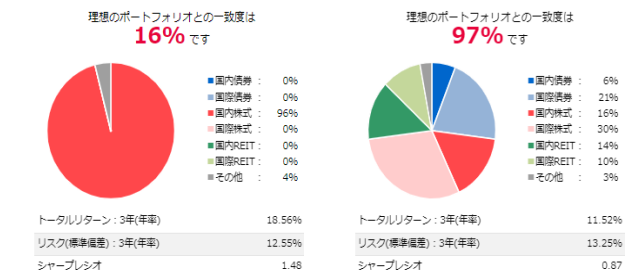
■ ポートフォリオ提案ツール「WealthAdvisor」



リバランス後のポートフォリオを確認のうえ、「リバランスの決定」ボタンを押してください。

※現在のポートフォリオ、リバランス後のポートフォリオには、当社取り扱いのない投資信託が含まれている場合があります。当社取り扱いのない投資信託のカテゴリーは、ワルズアドバイザー社のカテゴリーで区分されます。

■リバランス後のポートフォリオ



リバランス前：現在のポートフォリオの投資比率 / リバランス後：購入・売却後のポートフォリオ投資比率 / ↓：理想的なポートフォリオの投資比率



- 当社グループでは、投資信託や保険商品をご契約のお客さまのうち、一定の条件に該当する方に対し、担当者によるご面談・ご連絡や書面等を通じて、運用状況などの適時適切な情報提供、アフターフォローを実施しております。
- 相場急変によりファンドの基準価額が大幅に下落した際には、社内ルールに則ったフォローアップを実施しています。担当者向けにはマーケット解説動画の配信等によるフォローも行っております。
- また、ワイエム証券では、2025年度より、お客さまへの分かりやすい情報提供および金融リテラシー向上を目的として、各営業エリアにおいてお客さま向け投資信託セミナーを開催しております。

■ お客さま向け投資信託セミナー

[illegible]

- 地域の金融リテラシー向上に資するため、学校や大学等での出張授業やお取引先企業での職域セミナー等を実施しております。

出張授業の風景と受講生徒様の感想

学校では聞けない実践的な話まで教えて
もらえて将来のための勉強になりました！

グループワークもあって、
楽しく学ぶことができました！

親にもっと感謝しなければ
いけないと思いました！

※写真の掲載許可をいただいた学校についてのみ掲載しています

ご高齢のお客さまへの対応

- 日本証券業協会が作成したガイドライン「高齢顧客に対する勧誘による販売について」に基づき、ご高齢のお客さまに対する募集については、より丁寧な意思確認等を行っており、80歳以上のお客さまについて「継続的な状況把握」（健康状態や理解力、投資方針の変化等の確認）を実施しております。
- ご高齢のお客さまに対して金融商品を提案・販売する際は、複数回の面談やご家族のご理解を深めてまいります。

当社グループ銀行における主な対応（2026年3月末現在）

- ① 高齢者を70歳以上とし、80歳以上のお客さまに対してはより慎重な対応を行っております。
- ② 70歳以上80歳未満のお客さま
 - I. 「勧誘可能な商品」の募集を行う場合は、可能な限りご家族に同席いただくことで、より慎重な確認を行っております。
また、注文の前後で役席者がお客さまに確認の電話を行い、申込内容をご理解いただいていることを確認しております。
 - II. 「勧誘留意商品（勧誘可能な商品以外の商品：※1）」の募集を行う場合は、上記に加え、内部管理責任者による事前承認の前に面談等によって、役席者が適合性を確認しております。
- ③ 80歳以上のお客さま
 - I. 上記②に加え、原則としてご家族に同席いただくほか、勧誘留意商品の募集に関しては初回説明・勧誘の当日に募集・購入申込を受けることは原則不可とすることで、より慎重な意思確認を行っております。
 - II. 勧誘留意商品に関しては約定後、時間をおいて一週間以内に約定結果を通知のうえ、再度申込内容の理解度・取引を行ったことへの理解度を確認しております。
 - III. 毎年3月末時点で投資信託を3百万円以上保有する80歳以上のお客さまに対し、年1回以上、電話または面談により役席が継続的な状況把握を行い、健康状態や理解力、投資方針の変化等の確認を実施しております。

※1:勧誘留意商品・・・下記「勧誘可能な商品」として定めている商品以外の商品

「勧誘可能な商品」

①比較的変動が小さく、仕組みが複雑でなく、換金性が高い商品

- ・国債等
- ・公社債を中心に投資し安定的な運用を目指す投資信託
- ・米ドル、ユーロ、豪ドル建て上記に相当する投資信託等

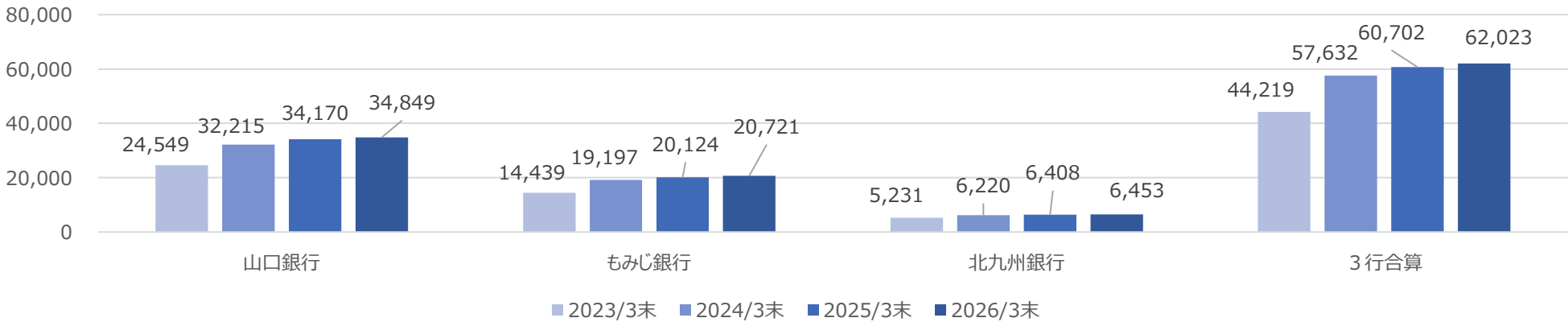
②周知性の高い商品、時々刻々価格が変動する商品

- ・日経225やTOPIXに連動する投資信託等（出所：日本証券業協会）

NISA制度の活用を通じた資産形成支援

- NISA制度について、ホームページやリーフレットを活用し、お客さまに分かりやすい情報提供に取り組んでおります。
- 2025年度は、店頭での提案やEメール、DM等を通じたPR活動を継続した結果、2026年3月末のNISA口座数は3銀行で62,023口座となり、2025年3月末比で増加しました。
- また、NISAの取組みを強化し始めた2023年3月末と比較すると、40.3%増加しており、引き続き地域の皆さまの資産形成支援に取り組んでまいります。

NISA口座開設数



■ ホームページ



■ NISAキャンペーンリーフレット



■ WEBで投資信託・NISA口座開設



投資信託に関する管理プロセス

- プロダクトガバナンス態勢を踏まえ、多様なお客さまの目的・資産状況・リスク許容度等に応じた様々なニーズに応えるため、商品・サービスを幅広く取り揃えてまいります。
- グループ3銀行、ワイエム証券におけるファンドの選定においては、不足するカテゴリを中心に、日本国内の全公募ファンドにおける同一カテゴリとの比較や、外部評価、販売体制等、定性面・定量面両面から分析を行います。
- ワイエムアセットマネジメントにおいては、運用戦略の方向決定、パフォーマンス評価、分析等の一連のサイクルを通じて、プロダクトガバナンス態勢の実効性を確保してまいります。

銀行・証券

導入前	• ポートフォリオ構築にあたって、取扱いファンドの中で主に不足するカテゴリから検討 • 運用実績（主に日本国内の全公募ファンドにおける同一カテゴリのシャープレシオとの比較）、外部評価、販売体制（リサーチ力や運用体制、販売会社への支援等）等の定性面、定量面両面から各条件を満たすものを取り扱う
導入後	• 運用実績、外部評価等、主に定量面の観点で評価を実施 • プロダクトガバナンス態勢の執行状況を検証

ワイエムアセットマネジメント

設定前	計画	• 運用戦略の方法を協議・決定
設定後	実行	• 運用計画に基づく運用を行なうとともに、運用状況を管理 • 運用部長はファンドの運用が運用計画に沿って行われていることを確認
	検証・改善	• プロダクトガバナンス態勢の執行状況を検証 • 運用のパフォーマンスの評価・分析、法令等にかかるモニタリングを実施 • 運用リスクにかかる管理状況を検証

• グループ各社では、お客さまの満足度を把握するために、継続的にお客さまアンケートを実施しています。お客さまの声を起点とした商品・サービス改善の取組みを行ってまいります。

商品ラインアップ（投資信託）

- 多様なお客さまの目的・資産状況・リスク許容度等に応じたニーズにお応えするため、管理プロセスを踏まえた投資信託ラインアップの整備に取り組んでおります。
- 2026年3月末時点では、グループ3銀行において各行120商品超、ワイエム証券において276商品を取り扱っており、NISA対象商品もグループ3銀行で約7割、ワイエム証券で5割超を確保するなど、商品ラインアップの充実に努めております。

事業体別・カテゴリ別ラインアップ（2026年3月末時点）※1

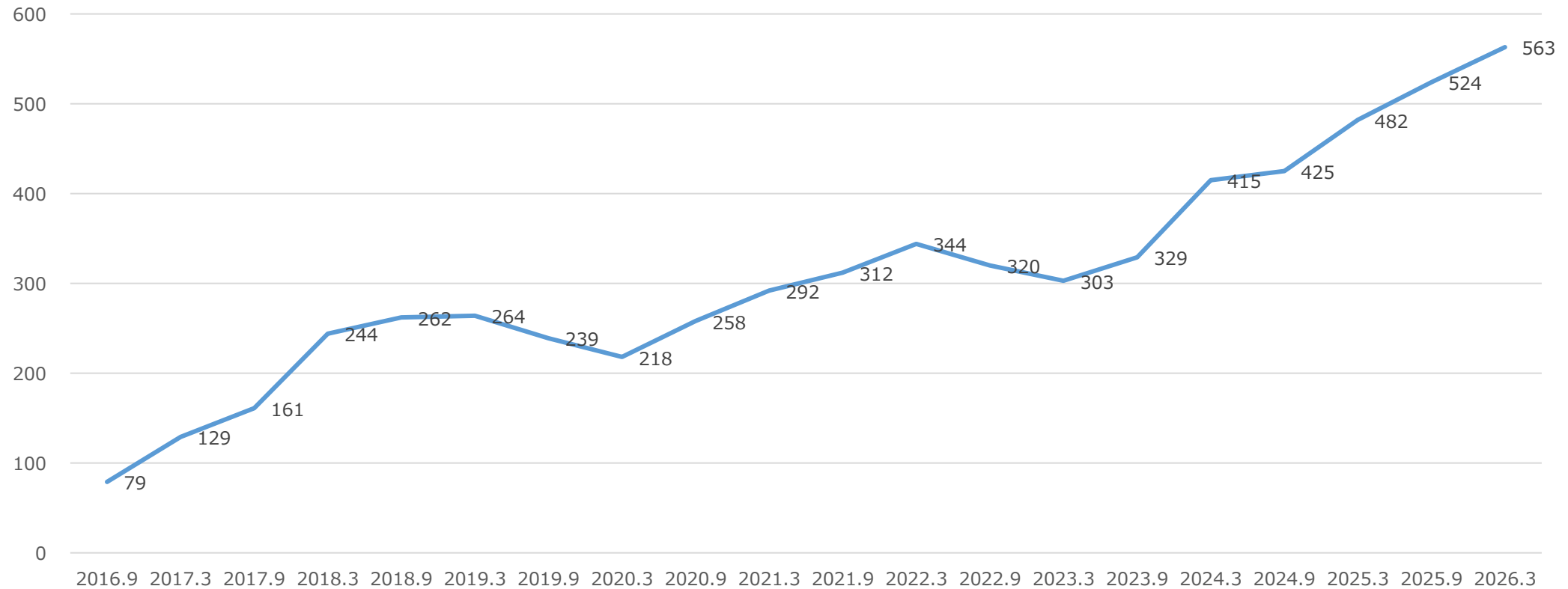
	山口銀行				もみじ銀行				北九州銀行				ワイエム証券			
	取扱商品		NISA対象※2		取扱商品		NISA対象※2		取扱商品		NISA対象※2		取扱商品		NISA対象※2	
	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率
国内株式	16	13.0%	15	93.8%	15	12.3%	14	93.3%	16	13.0%	15	93.8%	32	11.6%	20	62.5%
海外株式	51	41.5%	41	80.4%	51	41.8%	41	80.4%	51	41.5%	41	80.4%	111	40.2%	83	74.8%
国内債券	2	1.6%	1	50.0%	2	1.6%	1	50.0%	2	1.6%	1	50.0%	6	2.2%	3	50.0%
海外債券	13	10.6%	5	38.5%	13	10.7%	5	38.5%	13	10.6%	5	38.5%	54	19.6%	7	13.0%
REIT	13	10.6%	6	46.2%	13	10.7%	6	46.2%	13	10.6%	6	46.2%	20	7.2%	5	25.0%
バランス	26	21.1%	18	69.2%	26	21.3%	18	69.2%	26	21.1%	18	69.2%	47	17.0%	27	57.4%
その他	2	1.6%	2	100.0%	2	1.6%	2	100.0%	2	1.6%	2	100.0%	6	2.2%	3	50.0%
合計	123	100.0%	88	71.5%	122	100.0%	87	71.3%	123	100.0%	88	71.5%	276	100.0%	148	53.6%

※1インターネット専用商品除く
※2カテゴリ毎の取扱商品のうちNISA対象商品の比率

グループ会社（ワイエムアセットマネジメント）の運用資産残高推移

- 2025年度は、2024年1月からのNISA制度改正を背景とした投資家層の拡大や資産形成ニーズの高まりに加え、販売会社との連携強化等により資金流入が継続し、運用資産残高は2025年3月の482億円から2026年3月には563億円まで増加しました。
- 2026年度以降も、販売会社との情報連携を一層強化し、お客さまの資産形成に資する商品・サービスの開発、販売等を通じて、さらなる運用資産残高の拡大を目指してまいります。

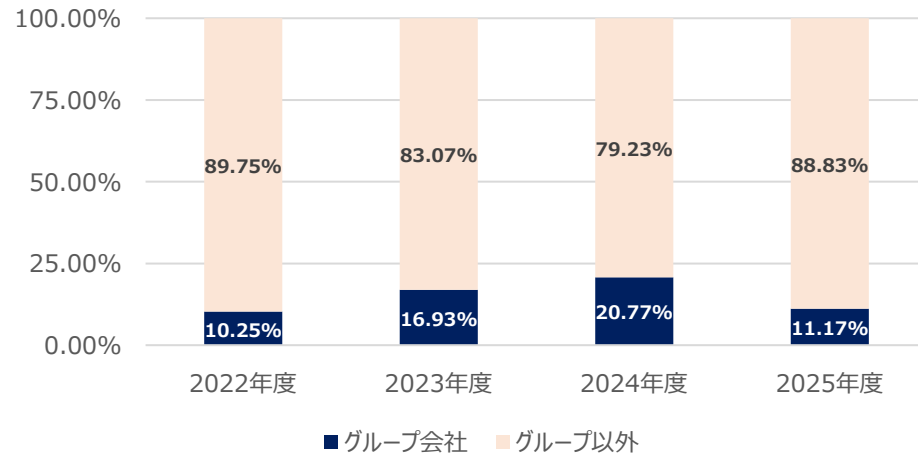
運用資産残高推移（億円）



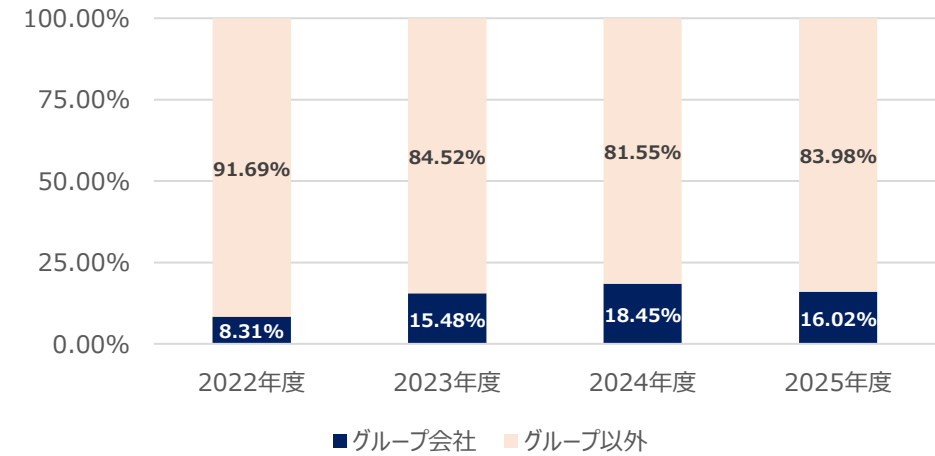
グループ会社（ワイエムアセットマネジメント）の投資信託販売比率

- 2025年度のグループ会社（ワイエムアセットマネジメント）の投資信託販売比率は、グループ3銀行およびワイエム証券のいずれも全体の3割以下となっています。
- 今後も、グループ会社の商品に偏ることなく、お客さまの目的やニーズ等に応じた幅広い商品提案を行ってまいります。

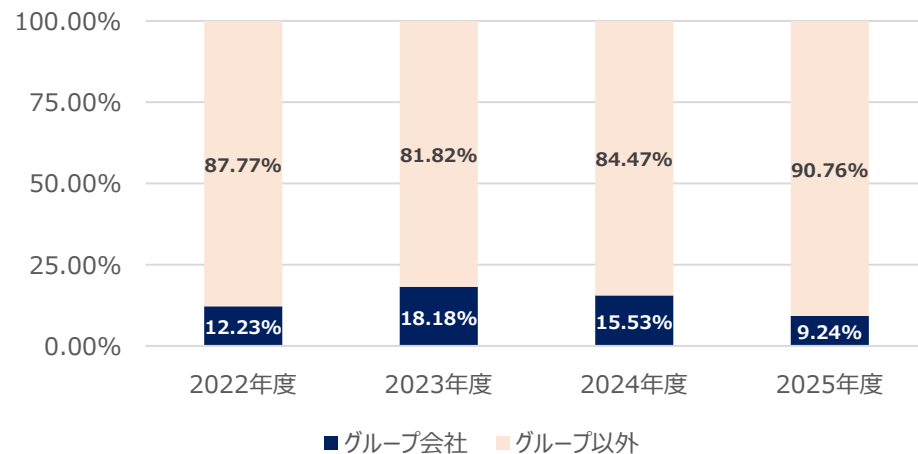
山口銀行



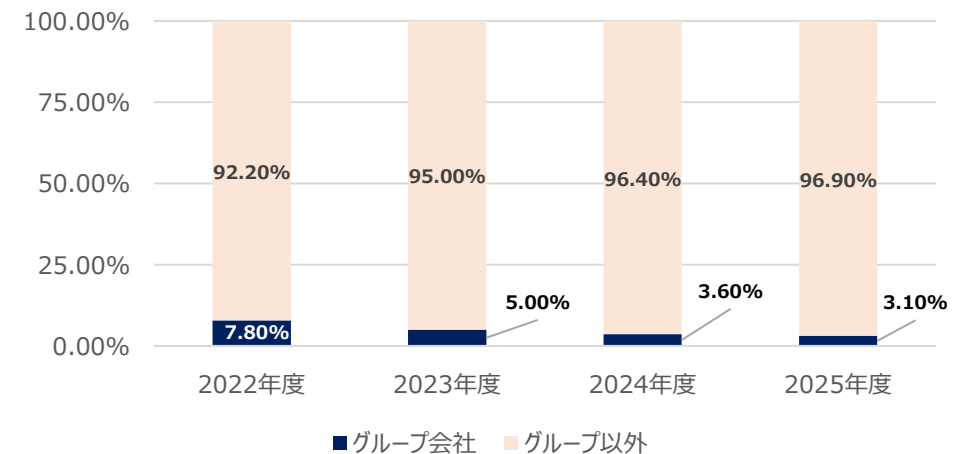
もみじ銀行



北九州銀行



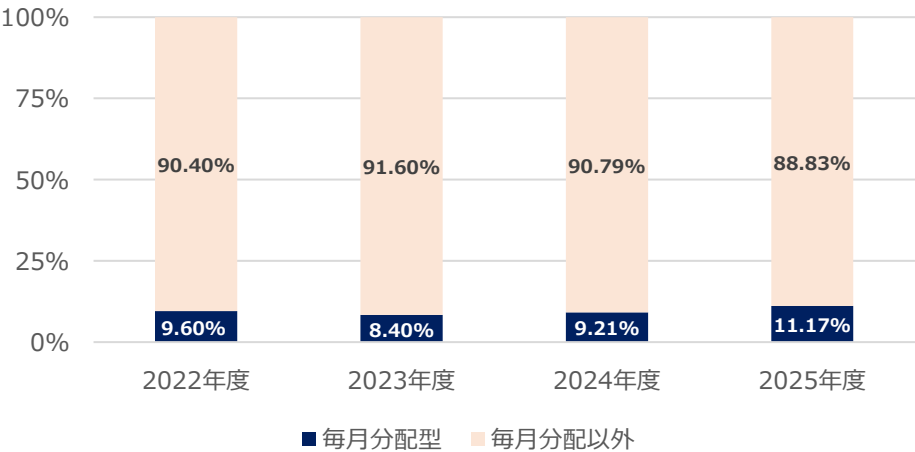
ワイエム証券



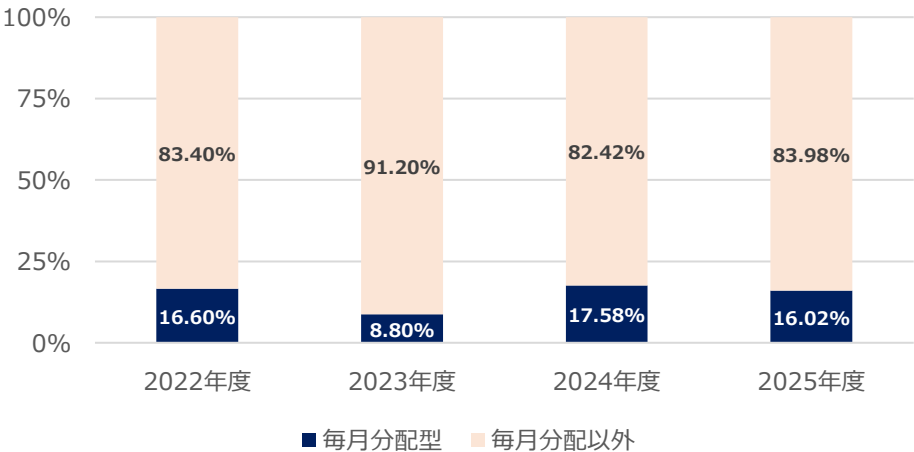
毎月分配型投資信託の販売比率

- 2025年度の毎月分配型投資信託の販売比率は、グループ3銀行では概ね低位で推移し、ワイエム証券においても前年から低下しました。
- 今後も、お客さまの目的やニーズを確認したうえで、分配金支払の仕組み等を丁寧に説明し、適切な商品提案に努めてまいります。

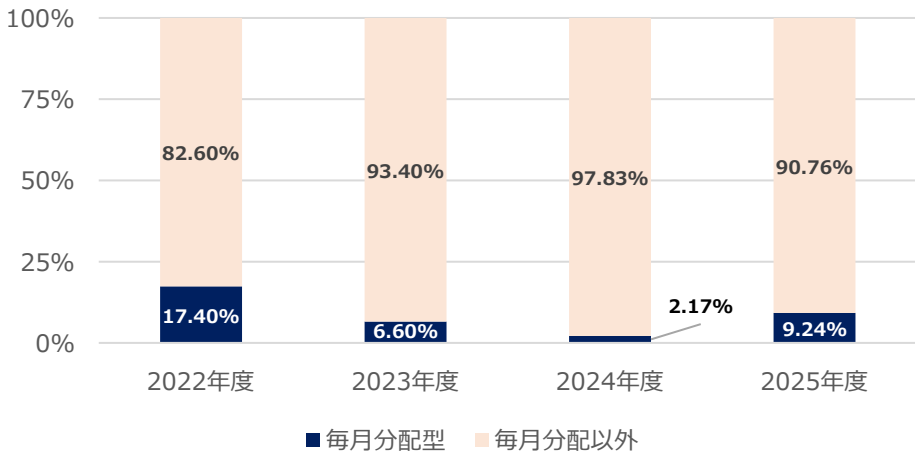
山口銀行



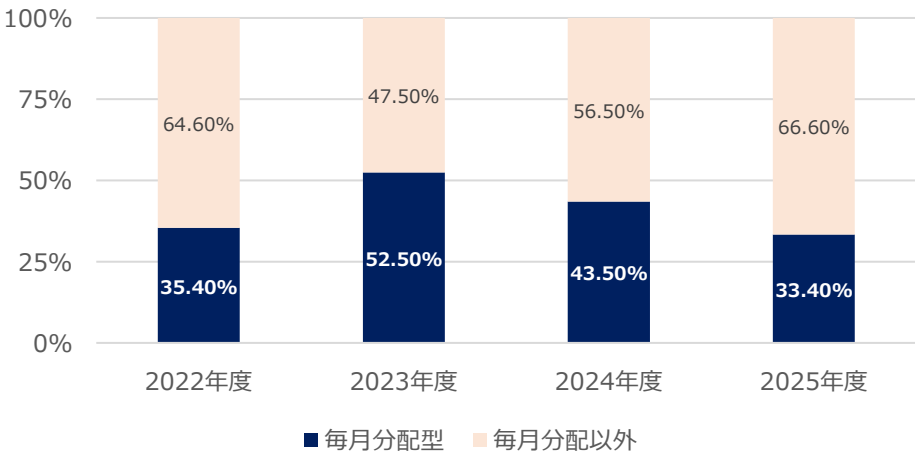
もみじ銀行



北九州銀行



ワイエム証券



商品ラインアップ（一時払保険・平準払保険）

- お客さまのニーズにお応えできるよう、ラインアップの充実に努めております。
- 商品ラインアップについては、お客さまのニーズ、同一カテゴリ類似商品比較等を踏まえて随時見直すとともに、各種資料（パンフレットや契約締結前交付書面等）を用いたわかりやすい情報提供に努めてまいります。

事業体別・カテゴリ別ラインアップ（平準払保険、2026年3月末時点）

	山口銀行		もみじ銀行		北九州銀行	
	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率
医療	9	23.1%	9	23.1%	9	23.1%
ガン	5	12.8%	5	12.8%	5	12.8%
収入保障 就業不能	2	5.1%	2	5.1%	2	5.1%
年金	4	10.3%	4	10.3%	4	10.3%
終身	3	7.7%	3	7.7%	3	7.7%
変額	1	2.6%	1	2.6%	1	2.6%
定期	14	35.9%	14	35.9%	14	35.9%
学資	1	2.6%	1	2.6%	1	2.6%
合計	39	100.0%	39	100.0%	39	100.0%

事業体別・カテゴリ別ラインアップ（一時払保険、2026年3月末時点）

		山口銀行		もみじ銀行		北九州銀行	
		商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率
円建	変額年金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	定額年金	5	14.7%	5	14.7%	5	14.7%
	終身	11	32.4%	11	32.4%	11	32.4%
	合計	16	47.1%	16	47.1%	16	47.1%
外貨建	変額年金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	定額年金	5	14.7%	5	14.7%	5	14.7%
	終身	13	38.2%	13	38.2%	13	38.2%
	合計	18	52.9%	18	52.9%	18	52.9%
合計		34	100.0%	34	100.0%	34	100.0%

※保険ひろばに関しては、推奨商品数を記載しております。

利益相反管理方針

- 当社グループにおける利益相反管理に関する対応方針として、内部規定である「利益相反管理規定」を公表しております。

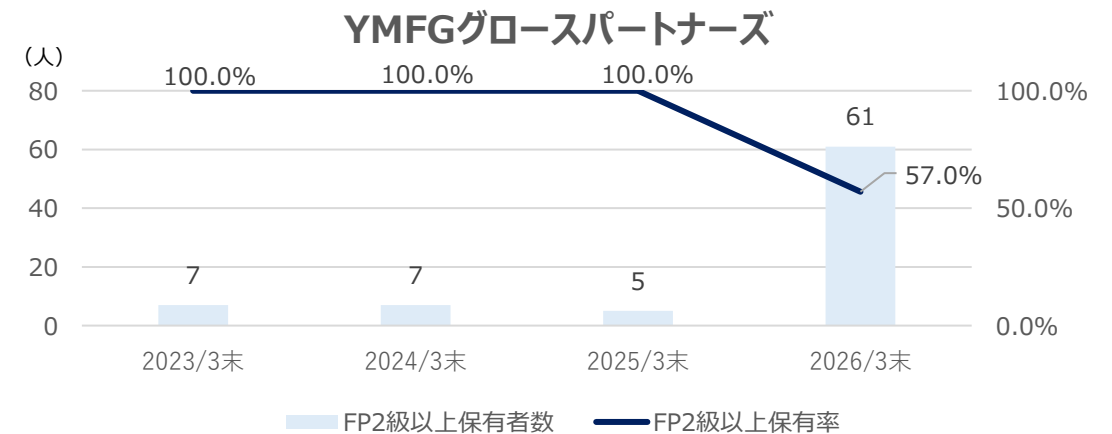
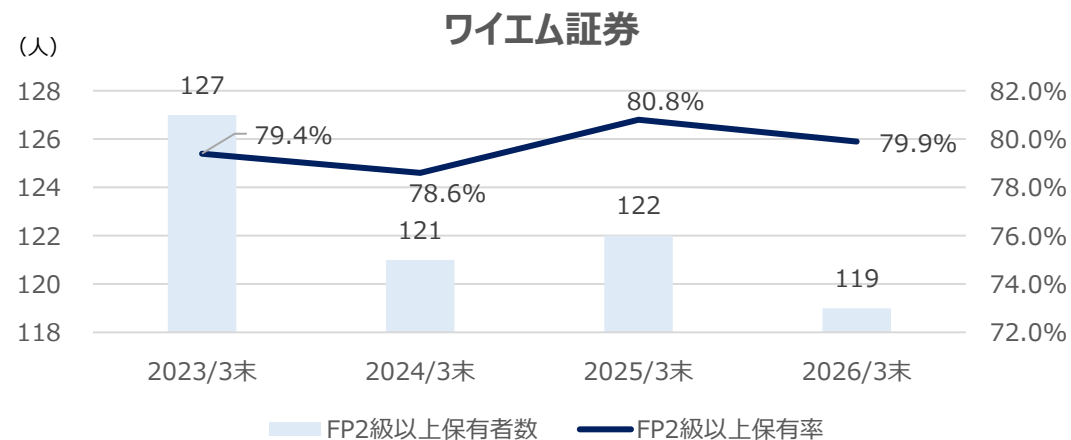
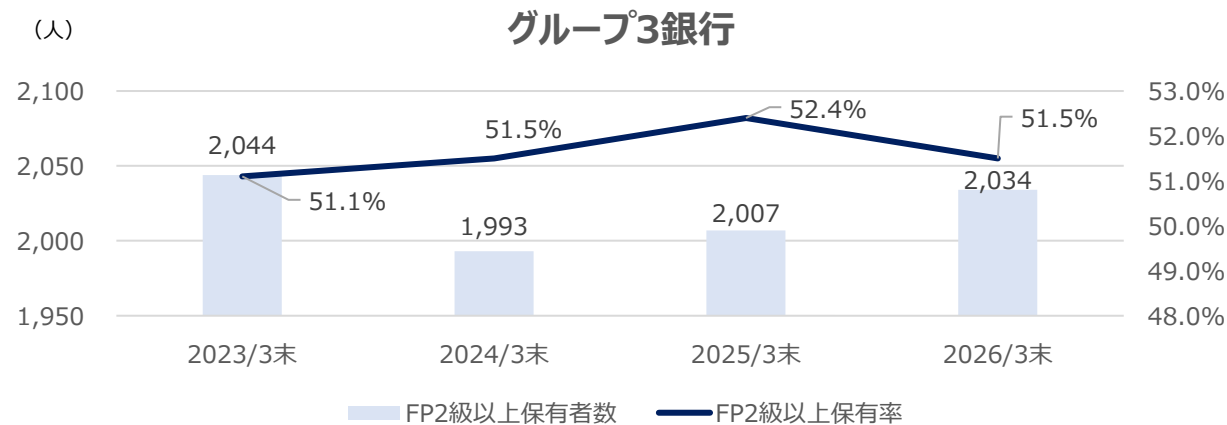
- 1. **管理対象会社**
グループ内銀行、グループ内銀行を所属銀行とする銀行代理業者および銀行関連業務・金融商品関連業務を行う当社グループ会社・関連会社とします。（以下、対象グループ会社）
- 2. **組織・管理態勢**
山口フィナンシャルグループのコンプライアンス統括部を統括部署とし、統括部署の担当役員が利益相反管理統括責任者として、対象グループ会社の利益相反取引にかかる管理態勢を統括します。
- 3. **利益相反取引の定義および取引類型**
利益相反取引とは、対象グループ会社とお客さまとの取引にあたりお客さまの利益を不当に害する取引、および対象グループ会社と複数のお客さまとの取引にあたりいずれかのお客さまの利益を不当に害する取引をいいます。お客さまの利益を不当に害する取引の類型は、次のとおりです。

取引類型	対象グループ会社とお客さま	お客さまと他のお客さま
利害対立型	対象グループ会社とお客さまの利害が対立する取引	対象グループ会社のお客さま同士の利害が対立する取引
競合取引型	対象グループ会社とお客さまが競合する取引	対象グループ会社のお客さま同士が競合する取引
情報利用型	対象グループ会社がお客さまとの関係を通じて取得したお客さまの情報を利用して、対象グループ会社が不当に利益を得る取引	対象グループ会社がお客さまとの関係を通じて取得したお客さまの情報を利用して、他のお客さまが不当に利益を得る取引

- 4. **管理プロセス**
当社グループは、利益相反取引の未然防止を図るため、以下のとおり、適切な管理を実施します。
 - (1) 報告
対象グループ会社は、各社で発生したお客さまとの取引において利益相反のおそれがあると判断した場合は、遅滞なく統括部署に報告します。
 - (2) 特定
統括部署は、報告を受けた取引について、お客さまの利益を不当に害するか否かの観点から実質的に検討し、管理する必要のある取引を特定します。
 - (3) 管理方法
統括部署は、想定される利益相反の内容に応じて、次の管理方法を選定します。
 - 1. お客さまとの取引を行う業務部門の情報遮断（情報共有先の制限）
 - 2. お客さまとの取引の条件または方法の変更
 - 3. お客さまとの取引の中止
 - 4. 利益相反のおそれがあることのお客さまへの開示（お客さまの同意を必要とする場合があります）
 - 5. その他お客さまの保護を適切に確保する方法
 - (4) 記録・保存
統括部署は、利益相反管理のプロセス（報告、特定および管理方法等）を適切に記録・保存します。
- 5. **教育・指導および改善活動**
当社グループは、役職員に対して利益相反管理にかかる指導・研修等を継続的に実施し、利益相反管理にかかる意識の向上に努めます。

人財育成の取組（FP資格取得）

- FP1級およびFP2級の資格取得を奨励しており、2026年3月末時点のFP2級以上保有者数は、グループ3銀行で2,034名、ワイエム証券で119名、YMFGグロースパートナーズで61名となりました。
- 今後も各種研修や自己啓発ツールの活用促進により、FP資格保有者の増加とコンサルティング力の向上に取り組んでまいります。



※YMFGグロースパートナーズについては、合併により資格取得者が増加しております。